教材の利用について：このPDFは、利用者本人の個人学習目的で保存・印刷して利用できます。法令上認められる場合を除き、PDFまたは印刷物の第三者への配布・販売、問題・選択肢・解説の転載・流用、塾・講座・研修等での無断利用はできません。詳細は利用規約をご確認ください。https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0001 AIプロジェクト企画 > 課題設定・AI適用可能性の判断 ｜ 難易度：基礎

研修資料に「解決したい業務課題と、改善したい事業上の成果を具体化する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア． AI手法の選定より先に、何を改善するのかを明確にすることが重要である。

イ． 課題やデータを確認する前にモデル構造を固定するのは適切でない。

ウ． 計算資源は要件に応じて後から選定する。

エ． AIは目的ではなく課題解決の手段である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『解決したい業務課題と、改善したい事業上の成果を具体化する。』である。

イ：この説明は別の論点『利用するニューラルネットワークの層数を先に固定する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『GPUの機種だけを先に決める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『AIを導入すること自体を最終目的にする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『解決したい業務課題と、改善したい事業上の成果を具体化する。』である。AI手法の選定より先に、何を改善するのかを明確にすることが重要である。 背景となる論点は次のとおりである。AI適用の可否は、課題、データ、評価可能性、運用条件、リスクを総合して判断する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0002 AIプロジェクト企画 > 課題設定・AI適用可能性の判断 ｜ 難易度：基礎

ある受験者が「競合が使っているなら同じAIをそのまま導入する。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア． 業務条件やデータ条件が異なれば同じ方法が適するとは限らない。

イ． AI導入の必要性は技術流行ではなく、課題解決への適合性で判断する。

ウ． 手段先行であり、事業目的との不整合を招きやすい。

エ． AIには適用限界があり、ルールベースや業務改善が適する場合もある。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『競合が使っているなら同じAIをそのまま導入する。』である。

イ：この説明は別の論点『対象業務の課題、現行手順、期待効果を整理し、AIを使わない代替策も含めて比較する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『AIモデルを作ってから解決する課題を探す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『AIで扱えない課題は存在しないと仮定する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『競合が使っているなら同じAIをそのまま導入する。』である。業務条件やデータ条件が異なれば同じ方法が適するとは限らない。 正しい理解の背景は次のとおりである。費用対効果や運用負荷を含め、AI以外の方法と比較することが企画段階では重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0003 AIプロジェクト企画 > 課題設定・AI適用可能性の判断 ｜ 難易度：基礎

AI関連の資料レビューで「判断基準が完全に固定され、数個のif文だけで正確に処理できる業務。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 単純なルールで十分ならAIを使う必然性は低い。

イ. 評価不能ではAIの有効性を検証しにくい。

ウ. 十分なデータと再現可能な評価がある予測課題はAIを検討しやすい。

エ. 学習や評価に必要な情報を確保できない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『判断基準が完全に固定され、数個のif文だけで正確に処理できる業務。』である。

イ：この説明は別の論点『正解を定義できず、成果の良否も測れない業務。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『過去の入力データと正解結果が多数蓄積され、将来も類似した条件で繰り返し予測する業務。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『データが存在せず、今後も取得できない業務。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『判断基準が完全に固定され、数個のif文だけで正確に処理できる業務。』である。単純なルールで十分ならAIを使う必然性は低い。 正しい理解の背景は次のとおりである。AI適用可能性はデータ量だけでなく、課題の定義、評価指標、運用時の入力取得可能性も重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0004 AIプロジェクト企画 > 課題設定・AI適用可能性の判断 ｜ 難易度：標準

次の主張「現行業務や単純モデルと比較し、AI導入による追加価値を客観的に評価するため。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 高度なモデルでもベースラインを上回らなければ導入価値は乏しい可能性がある。

イ. ベースラインは性能保証ではなく比較基準である。

ウ. 学習型AIには通常データが必要である。

エ. むしろ比較評価を可能にする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『現行業務や単純モデルと比較し、AI導入による追加価値を客観的に評価するため。』である。

イ：この説明は別の論点『AIモデルの精度を必ず100%にするため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『訓練データを不要にするため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『評価指標を使わずに導入判断するため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『現行業務や単純モデルと比較し、AI導入による追加価値を客観的に評価するため。』である。高度なモデルでもベースラインを上回らなければ導入価値は乏しい可能性がある。 背景となる論点は次のとおりである。単純ルール、既存業務、平均値予測などをベースラインとして使うことがある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0005 AIプロジェクト企画 > 課題設定・AI適用可能性の判断 ｜ 難易度：標準

学習者が「Accuracyは回帰でしか使えない指標だから。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. Accuracyは分類で一般的に使われる。

イ. クラス不均衡では少数クラスのRecallなど業務上重要な指標を確認する必要がある。

ウ. 適切な管理の下で利用できる場合がある。

エ. むしろ慎重な評価が必要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『Accuracyは回帰でしか使えない指標だから。』である。

イ：この説明は別の論点『事故なしが圧倒的多数なら、事故を全く検出しないモデルでも高いAccuracyになり得るため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『AIでは事故データを学習に使えないから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『事故予測ではモデル評価を行ってはいけないから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『Accuracyは回帰でしか使えない指標だから。』である。Accuracyは分類で一般的に使われる。 正しい理解の背景は次のとおりである。事業上重要な失敗を反映する評価指標を、課題設定の段階から考える必要がある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0006 AIプロジェクト企画 > 課題設定・AI適用可能性の判断 ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「予測精度だけでなく、予測を意思決定へ反映できる業務プロセスまで設計する必要がある。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. モデル出力が行動につながらなければ事業効果は生まれにくい。

イ. 活用プロセスがなければ価値に変換できない。

ウ. 組織上の権限設計は別途必要である。

エ. 事業目的とのつながりを改善しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『予測精度だけでなく、予測を意思決定へ反映できる業務プロセスまで設計する必要がある。』である。

イ：この説明は別の論点『予測精度が高ければ業務フローは不要である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『AIが自動的に組織権限を変更すると考える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『発注業務を無視し、モデル規模だけを大きくする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『予測精度だけでなく、予測を意思決定へ反映できる業務プロセスまで設計する必要がある。』である。モデル出力が行動につながらなければ事業効果は生まれにくい。背景となる論点は次のとおりである。社会実装ではモデル開発だけでなく、人・業務・システムの接続を含めて設計する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0007 AIプロジェクト企画 > 課題設定・AI適用可能性の判断 ｜ 難易度：標準

教材の草案に「データ量が1件でもあれば必ず高精度になるから。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. データの量・質・代表性が必要である。

イ. 多くのAIはデータに依存する。

ウ. 学習時だけ取得できる情報を特徴量にすると実運用で再現できない。

エ. 実務データには欠損・揺れ・偏りがある。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『データ量が1件でもあれば必ず高精度になるから。』である。

イ： この説明は別の論点『AIはデータを使わずに学習するから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『運用時に必要な特徴量が同じ条件で取得できるか、目的に合うラベルや品質があるかも確認する必要があるため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『データ形式は常に完全に統一されているから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『データ量が1件でもあれば必ず高精度になるから。』である。データの量・質・代表性が必要である。 正しい理解の背景は次のとおりである。データの可用性は「現在あるか」だけでなく、継続取得・利用権限・本番再現性まで確認する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0008 AIプロジェクト企画 > 課題設定・AI適用可能性の判断 ｜ 難易度：標準

「誤判定の影響、説明・異議申立て、人による確認などを含めてリスクと統制を設計する。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 性能だけでなく影響の大きさや人の関与を考える必要がある。

イ. 高リスク用途では失敗の種類と影響を評価すべきである。

ウ. AIには誤りがあり得る。

エ. 業務・法務・リスク等の関係者も必要となる。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『誤判定の影響、説明・異議申立て、人による確認などを含めてリスクと統制を設計する。』である。

イ： この説明は別の論点『平均精度が高ければ個別の重大な誤りは無視する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『AIの判断は必ず正しいとして再確認しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『モデルの学習担当者だけで社会的影響を決める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『誤判定の影響、説明・異議申立て、人による確認などを含めてリスクと統制を設計する。』である。性能だけでなく影響の大きさや人の関与を考える必要がある。 背景となる論点は次のとおりである。リスクベースで適切な人間の監督や検証を組み込むことが重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0009 AIプロジェクト企画 > 課題設定・AI適用可能性の判断 ｜ 難易度：応用

研修資料に「単純な業務ルールで十分な品質を低コストかつ説明可能に実現できる場合。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. AIより簡素な手段が目的を満たすなら、その方が保守性や説明性で有利なことがある。

イ. 名称は適用根拠にならない。

ウ. モデル規模は事業価値そのものではない。

エ. どの方法でも評価は必要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『単純な業務ルールで十分な品質を低コストかつ説明可能に実現できる場合。』である。

イ：この説明は別の論点『AIという名称を資料に入れたい場合。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『モデルのパラメータ数を増やしたい場合。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『評価方法を決めたくない場合。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『単純な業務ルールで十分な品質を低コストかつ説明可能に実現できる場合。』である。AIより簡素な手段が目的を満たすなら、その方が保守性や説明性で有利なことがある。 背景となる論点は次のとおりである。課題解決の選択肢としてルール、統計、業務変更、AIを比較する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0010 AIプロジェクト企画 > 課題設定・AI適用可能性の判断 ｜ 難易度：応用

ある受験者が「AI導入の宣言、担当者人数、会議回数だけを確認する。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 活動量は成果の成立条件ではない。

イ. 技術・事業上の成立条件を確認できない。

ウ. 価値・データ・評価・運用の条件が揃って初めて実装可能性を判断しやすい。

エ. 自社の課題・データ・運用条件を評価すべきである。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『AI導入の宣言、担当者人数、会議回数だけを確認する。』である。

イ：この説明は別の論点『モデル名、GPU台数、発表資料のデザインだけを確認する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『価値のある課題か、必要データを取得できるか、成功を測る指標があるか、運用制約に適合するかを確認する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『競合企業のモデル名だけを確認する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『AI導入の宣言、担当者人数、会議回数だけを確認する。』である。活動量は成果の成立条件ではない。 正しい理解の背景は次のとおりである。技術検証と事業検証を分けず、両方を初期段階から確認することが重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0011 AIプロジェクト企画 > プロジェクト工程・PoC ｜ 難易度：基礎

AI関連の資料レビューで「評価指標を設定せず試作品を見せる。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 成功条件を事前に定める必要がある。

イ. PoCは限定的な検証段階である。

ウ. PoCは本番完成品を作ることではなく、不確実性を減らす検証である。

エ. 本番ではデータ・負荷・運用条件が変わり得る。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『評価指標を設定せず試作品を見せる。』である。

イ： この説明は別の論点『最初から全社本番システムを完成させる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『限定した条件で技術的・事業的な成立可能性を検証し、本格投資の判断材料を得る。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『PoCが成功すれば本番運用も無条件で成功するとみなす。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『評価指標を設定せず試作品を見せる。』である。成功条件を事前に定める必要がある。 正しい理解の背景は次のとおりである。PoCでは検証仮説、範囲、期間、成功基準を明示する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0012 AIプロジェクト企画 > プロジェクト工程・PoC ｜ 難易度：基礎

次の主張「開始前に検証項目、合否基準、次工程へ進む条件と終了条件を決める。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 出口条件を事前に定義することで、検証を際限なく続けることを防ぐ。

イ. 目的のない継続は判断を先送りする。

ウ. 本番化には運用・費用・リスク確認も必要である。

エ. 事後変更は評価の客観性を損ねる。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『開始前に検証項目、合否基準、次工程へ進む条件と終了条件を決める。』である。

イ： この説明は別の論点『評価結果に関係なくPoCを毎年継続する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『モデル精度だけを見て運用条件を確認しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『成功条件を結果が出た後で都合よく変更する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『開始前に検証項目、合否基準、次工程へ進む条件と終了条件を決める。』である。出口条件を事前に定義することで、検証を際限なく続けることを防ぐ。 背景となる論点は次のとおりである。PoCのゴールは「AIモデルを作ること」ではなく、本番化判断に必要な不確実性を減らすことである。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0013 AIプロジェクト企画 > プロジェクト工程・PoC ｜ 難易度：基礎

学習者が「データ確認は本番稼働後に初めて行うべきだから。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 企画・PoC段階で確認する必要がある。

イ. AIではデータ品質や取得可能性が要件へ強く影響する。

ウ. AI要件はデータ制約を受ける。

エ. 目的と要件は別途必要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『データ確認は本番稼働後に初めて行うべきだから。』である。

イ：この説明は別の論点『データの実態により実現可能な機能や精度が変わるため、業務要件をデータ条件と相互に調整できる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『要件はデータと無関係に固定できるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『データ量が多ければ要件定義は不要だから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『データ確認は本番稼働後に初めて行うべきだから。』である。企画・PoC段階で確認する必要がある。 正しい理解の背景は次のとおりである。AI開発は一般的なソフトウェア以上に探索的・反復的な性質を持つ。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0014 AIプロジェクト企画 > プロジェクト工程・PoC ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「PoCでは高性能でも、本番の欠損・ノイズ・分布差により性能が低下する。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. PoCデータの代表性が低いと本番性能を過大評価する。

イ. データ条件が異なるため保証できない。

ウ. 学習・評価に直接影響する。

エ. 一般にノイズは性能低下要因となる。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『PoCでは高性能でも、本番の欠損・ノイズ・分布差により性能が低下する。』である。

イ：この説明は別の論点『本番でも必ずPoCと同じ性能になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『PoCのデータ品質はモデル性能に影響しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『本番データが汚いほどモデルは必ず強くなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『PoCでは高性能でも、本番の欠損・ノイズ・分布差により性能が低下する。』である。PoCデータの代表性が低いと本番性能を過大評価する。 背景となる論点は次のとおりである。PoCでは実運用条件を可能な範囲で再現し、差分を明示する必要がある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0015 AIプロジェクト企画 > プロジェクト工程・PoC ｜ 難易度：標準

教材の草案に「本番監視はAIモデルを停止させることだけが目的だから。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 性能・データ・異常等を継続的に確認する。

イ. データドリフト等で変化し得る。

ウ. 導入時のテストだけでは将来の変化を捉えられない。

エ. 監視の主目的ではない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『本番監視はAIモデルを停止させることだけが目的だから。』である。

イ：この説明は別の論点『一度学習したモデルは性能が永久に一定だから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『運用中に入力分布や業務条件が変化し、性能やリスクが時間とともに変わる可能性があるため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『監視をするとテストデータが自動で増えるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『本番監視はAIモデルを停止させることだけが目的だから。』である。性能・データ・異常等を継続的に確認する。 正しい理解の背景は次のとおりである。導入前評価と運用中監視の両方を計画に含める。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0016 AIプロジェクト企画 > プロジェクト工程・PoC ｜ 難易度：標準

「現場の課題、データの意味、誤判定コスト、運用手順を技術チームだけでは完全に把握できないため。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. AIの社会実装は技術と業務の共同設計が必要である。

イ. 技術実装は役割分担できる。

ウ. 適切な権限で共同確認する。

エ. むしろ事業指標の設定に重要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『現場の課題、データの意味、誤判定コスト、運用手順を技術チームだけでは完全に把握できないため。』である。

イ：この説明は別の論点『業務部門だけが機械学習アルゴリズムを実装する必要があるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『技術部門はデータを見てはいけないから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『業務部門が関与すると評価指標を使えなくなるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『現場の課題、データの意味、誤判定コスト、運用手順を技術チームだけでは完全に把握できないため。』である。AIの社会実装は技術と業務の共同設計が必要である。 背景となる論点は次のとおりである。ステークホルダーの役割、責任、意思決定権限を明確にする。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0017 AIプロジェクト企画 > プロジェクト工程・PoC ｜ 難易度：標準

研修資料に「精度だけでは本番要件を満たさないため、速度改善やモデル変更を含め再検討する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 本番化判断には精度以外の性能・コスト・運用制約も含める。

イ. レイテンシ要件を満たしていない。

ウ. リアルタイム業務では重要な非機能要件である。

エ. 根本的な速度要因を評価すべきである。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『精度だけでは本番要件を満たさないため、速度改善やモデル変更を含め再検討する。』である。

イ： この説明は別の論点『精度目標を達成したので無条件に本番導入する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『推論時間は事業要件と無関係である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『テストデータを削除すれば速度問題は解消するとみなす。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『精度だけでは本番要件を満たさないため、速度改善やモデル変更を含め再検討する。』である。本番化判断には精度以外の性能・コスト・運用制約も含める。 背景となる論点は次のとおりである。PoCの成功基準には精度、処理時間、コスト、可用性など必要な非機能条件も含める。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0018 AIプロジェクト企画 > プロジェクト工程・PoC ｜ 難易度：標準

ある受験者が「PoCでは評価を行わなくてよくなるから。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 評価は別途必要である。

イ. 停止や切戻しは設計可能である。

ウ. 社会実装では失敗時の復旧策も運用設計の一部である。

エ. 精度改善ではなく事業継続のためである。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『PoCでは評価を行わなくてよくなるから。』である。

イ： この説明は別の論点『AIモデルは一度公開すると停止できないから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『AI導入後に重大な性能低下や障害が起きた場合、既存方式へ安全に戻せるようにするため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『ロールバックするとモデル精度が必ず上がるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『PoCでは評価を行わなくてよくなるから。』である。評価は別途必要である。 正しい理解の背景は次のとおりである。段階展開、A/B、シャドー運用などで影響を限定して導入する方法もある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0019 AIプロジェクト企画 > プロジェクト工程・PoC ｜ 難易度：応用

AI関連の資料レビューで「モデルを学習せず画面だけ表示する。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 実際の入力に対する出力を検証する。

イ. シャドー運用は影響を限定する。

ウ. 運用比較の方法である。

エ. 本番に近いデータで影響を抑えながら性能を確認できる。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『モデルを学習せず画面だけ表示する。』である。

イ：この説明は別の論点『AIに全業務を即時自動化させ、人の手順を停止する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『訓練データを非公開にすることだけを指す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『AIの予測を実業務の意思決定には直接使わず、現行運用と並行して出力を記録・評価する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『モデルを学習せず画面だけ表示する。』である。実際の入力に対する出力を検証する。 正しい理解の背景は次のとおりである。高影響業務では段階的導入がリスク低減に役立つ。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0020 AIプロジェクト企画 > プロジェクト工程・PoC ｜ 難易度：応用

次の主張「継続的なデータ取得、監視、再学習、障害対応、権限管理、費用などの運用体制。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 本番ではモデルそのもの以外の継続運用が必要になる。

イ. 再現性・運用性・安全性が不足する。

ウ. 監視と改善にログが重要となる。

エ. 属人化を避ける運用設計が必要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『継続的なデータ取得、監視、再学習、障害対応、権限管理、費用などの運用体制。』である。

イ：この説明は別の論点『PoCのノートブックが動けば他の設計は不要とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『本番では評価ログを一切残さない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『担当者が退職しても知識移管は不要とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『継続的なデータ取得、監視、再学習、障害対応、権限管理、費用などの運用体制。』である。本番ではモデルそのもの以外の継続運用が必要になる。 背景となる論点は次のとおりである。MLOps的な運用、変更管理、責任分担まで含めて本番化を判断する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0021 AIプロジェクト企画 > KPI・評価基準・事業目的 ｜ 難易度：基礎

学習者が「評価結果を記録しないため。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. KPIは継続的な評価の基準である。

イ. モデル指標だけでなく事業成果まで追跡する必要がある。

ウ. パラメータ数は事業成果ではない。

エ. 導入自体ではなく効果を評価する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『評価結果を記録しないため。』である。

イ：この説明は別の論点『AI導入が事業目的にどの程度貢献したかを定量・定性的に評価するため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『モデルのパラメータ数を最大化するため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『AIを導入した事実だけを成果にするため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『評価結果を記録しないため。』である。KPIは継続的な評価の基準である。 正しい理解の背景は次のとおりである。KPIは事業目標と因果的・運用的につながるものを選ぶ。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0022 AIプロジェクト企画 > KPI・評価基準・事業目的 ｜ 難易度：基礎

実務上の判断で「分類精度に加え、担当者の振分け時間や再割当率、処理時間の改善を測る。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. AI性能が業務成果へつながったかを確認できる。

イ. 技術構造であり業務成果ではない。

ウ. 運用監視には使えても事業KPIの中心ではない。

エ. 業務価値との関係がない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『分類精度に加え、担当者の振分け時間や再割当率、処理時間の改善を測る。』である。

イ：この説明は別の論点『ニューラルネットワークの層数だけを測る。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『GPU温度だけを測る。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『訓練データのファイル名の長さを測る。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『分類精度に加え、担当者の振分け時間や再割当率、処理時間の改善を測る。』である。AI性能が業務成果へつながったかを確認できる。 背景となる論点は次のとおりである。モデルKPIとビジネスKPIを対応づけることで、精度改善の価値を判断しやすくなる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0023 AIプロジェクト企画 > KPI・評価基準・事業目的 ｜ 難易度：基礎

教材の草案に「事業目的を決めなくてよくなる。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 指標は事業目的から導く。

イ. 指標設定は性能保証ではない。

ウ. 評価には独立データが必要である。

エ. 成功条件の事前定義は評価の恣意性を減らす。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『事業目的を決めなくてよくなる。』である。

イ：この説明は別の論点『モデル性能を必ず100%にできる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『検証データが不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『結果を見てから都合の良い指標だけを選ぶことを防ぎ、客観的な導入判断がしやすくなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『事業目的を決めなくてよくなる。』である。指標は事業目的から導く。 正しい理解の背景は次のとおりである。複数の指標と最低許容値を定める場合もある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0024 AIプロジェクト企画 > KPI・評価基準・事業目的 ｜ 難易度：標準

「陽性を見逃すFalse Negativeの影響を考え、Recallなどを重要視しつつ他指標とのバランスを取る。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 業務上の誤りコストに応じて評価指標を選ぶ。

イ. 不均衡や見逃しコストを反映できないことがある。

ウ. 見逃しとのトレードオフを考える必要がある。

エ. 目的に応じて選ぶ。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『陽性を見逃すFalse Negativeの影響を考え、Recallなどを重要視しつつ他指標とのバランスを取る。』である。

イ：この説明は別の論点『常にAccuracyだけで判断する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『常にPrecisionだけを最大化すればよい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『指標は業務影響に関係なく同じものを使う。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『陽性を見逃すFalse Negativeの影響を考え、Recallなどを重要視しつつ他指標とのバランスを取る。』である。業務上の誤りコストに応じて評価指標を選ぶ。 背景となる論点は次のとおりである。閾値変更でPrecisionとRecallが変わるため、実運用コストと合わせて決定する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0025 AIプロジェクト企画 > KPI・評価基準・事業目的 ｜ 難易度：標準

研修資料に「AI出力が実際の意思決定や業務行動に使われているか、また改善余地の大きい工程を対象にしているかを確認する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. モデル性能と事業成果の間に運用プロセスが存在する。

イ. 最終目的は事業成果である。

ウ. ボトルネックが業務側なら改善しない。

エ. データリーケージになり評価を損なう。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『AI出力が実際の意思決定や業務行動に使われているか、また改善余地の大きい工程を対象にしているかを確認する。』である。

イ： この説明は別の論点『モデルの精度が高いので事業KPIは測定しなくてよい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『モデルサイズをさらに増やせば必ずKPIも改善する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『評価データを訓練データへ移せば事業KPIが上がる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『AI出力が実際の意思決定や業務行動に使われているか、また改善余地の大きい工程を対象にしているかを確認する。』である。モデル性能と事業成果の間に運用プロセスが存在する。 背景となる論点は次のとおりである。技術KPI→業務行動→事業KPIというつながりを仮説として検証する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0026 AIプロジェクト企画 > KPI・評価基準・事業目的 ｜ 難易度：標準

ある受験者が「主要KPIだけを最大化し副作用を一切測らない。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 安全・品質面の悪化を見落とす。

イ. 主目的の改善と同時に悪化させてはいけない指標を設ける。

ウ. ガードレールは成果の副作用監視に用いる。

エ. 異なる目的の指標を別々に管理する。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『主要KPIだけを最大化し副作用を一切測らない。』である。

イ： この説明は別の論点『処理時間短縮を目指しつつ、誤判定率や苦情率が許容上限を超えないことも監視する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『モデルの層数に上限を付けることだけを指す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『全ての指標を同じ値にする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『主要KPIだけを最大化し副作用を一切測らない。』である。安全・品質面の悪化を見落とす。 正しい理解の背景は次のとおりである。安全性、公平性、顧客体験などをガードレールとして設定することがある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0027 AIプロジェクト企画 > KPI・評価基準・事業目的 ｜ 難易度：標準

AI関連の資料レビューで「ベースラインより少しでも高ければ費用に関係なく導入すべきだから。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 改善幅と費用対効果を考える必要がある。

イ. 独立評価は依然必要である。

ウ. 相対的改善と絶対的要求の両方を検討できる。

エ. 比較基準である。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『ベースラインより少しでも高ければ費用に関係なく導入すべきだから。』である。

イ： この説明は別の論点『ベースラインを設定するとテストが不要になるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『現状値や既存方式と比較して、改善幅が事業上意味のある大きさか判断できるため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『ベースラインはモデル学習率を決める数値だから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『ベースラインより少しでも高ければ費用に関係なく導入すべきだから。』である。改善幅と費用対効果を考える必要がある。 正しい理解の背景は次のとおりである。ベースラインには現行業務、単純ルール、既存モデルなどを用いる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0028 AIプロジェクト企画 > KPI・評価基準・事業目的 ｜ 難易度：標準

次の主張「導入による便益だけでなく、データ整備、開発、推論、監視、再学習、人員など継続コストも含める。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. AIは初期開発後も運用費用が発生する。

イ. 運用・データ・人件費などもある。

ウ. 性能とコストは別である。

エ. 本番の継続費用を含める必要がある。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『導入による便益だけでなく、データ整備、開発、推論、監視、再学習、人員など継続コストも含める。』である。

イ： この説明は別の論点『モデル学習時のGPU購入費だけを費用とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『精度が高ければ費用は0とみなす。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『PoC費用だけを永久の総費用とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『導入による便益だけでなく、データ整備、開発、推論、監視、再学習、人員など継続コストも含める。』である。AIは初期開発後も運用費用が発生する。 背景となる論点は次のとおりである。TCOと期待便益を比較し、定期的に見直す。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0029 AIプロジェクト企画 > KPI・評価基準・事業目的 ｜ 難易度：応用

学習者が「AI適用群だけを見て対照群を用意しないことがA/Bテストである。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. A/Bでは複数条件を比較する。

イ. 単純な前後比較より外部要因を分離しやすい。

ウ. 比較の妥当性を損ねる。

エ. 事業施策の比較にも使う。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『AI適用群だけを見て対照群を用意しないことがA/Bテストである。』である。

イ：この説明は別の論点『条件を可能な限り揃えた対照群とAI適用群を比較し、KPI差を測る。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『テスト中に結果を見て対象を都合よく入れ替える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『モデルのパラメータ数を2倍にする実験だけを指す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『AI適用群だけを見て対照群を用意しないことがA/Bテストである。』である。A/Bでは複数条件を比較する。 正しい理解の背景は次のとおりである。ランダム化や期間、サンプルサイズ、干渉など実験設計上の注意が必要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0030 AIプロジェクト企画 > KPI・評価基準・事業目的 ｜ 難易度：応用

実務上の判断で「入力分布、利用者行動、業務環境が変わり、導入時の効果やリスクが維持されない可能性があるため。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. KPIは一度測って終わりではなく、継続的な意思決定に使う。

イ. 自動で安全性や性能が保証されるわけではない。

ウ. 本番運用でも重要である。

エ. 無関係である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『入力分布、利用者行動、業務環境が変わり、導入時の効果やリスクが維持されない可能性があるため。』である。

イ：この説明は別の論点『本番稼働後はAIが自動的に最適化され続けるから監視不要である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『KPIはPoCでしか使えないから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『監視するとモデルの著作権が消えるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『入力分布、利用者行動、業務環境が変わり、導入時の効果やリスクが維持されない可能性があるため。』である。KPIは一度測って終わりではなく、継続的な意思決定に使う。 背景となる論点は次のとおりである。性能ドリフトや業務KPI悪化に対するアラート・再評価条件を設定する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0031 データ収集 > データ入手・収集計画 ｜ 難易度：基礎

教材の草案に「ファイル拡張子だけを決める。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 収集計画は内容・対象・条件まで含む。

イ. 目的・法的条件・コストを考える必要がある。

ウ. 「集められるものを全部集める」のではなく目的から必要性を定義する。

エ. 企画段階から把握する。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『ファイル拡張子だけを決める。』である。

イ： この説明は別の論点『データの利用目的を決めずに最大量を集める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『目的に必要なデータ項目、対象母集団、期間、取得頻度、取得方法、利用条件を定める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『本番開始後に初めてデータの所在を調べる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『ファイル拡張子だけを決める。』である。収集計画は内容・対象・条件まで含む。 正しい理解の背景は次のとおりである。収集計画は学習だけでなく、検証・運用・更新まで見通して設計する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0032 データ収集 > データ入手・収集計画 ｜ 難易度：基礎

「繁忙期と閑散期を含む十分な期間のデータを集め、季節イベントも記録する。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 短期間だけでは季節変動を学習・評価できない。

イ. 期間の多様性が増えない。

ウ. 母集団を代表しない。

エ. 時系列性を扱うには有用な場合がある。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『繁忙期と閑散期を含む十分な期間のデータを集め、季節イベントも記録する。』である。

イ： この説明は別の論点『一日のデータだけを大量複製する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『最も売上が高い日だけを集める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『日付情報を必ず削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『繁忙期と閑散期を含む十分な期間のデータを集め、季節イベントも記録する。』である。短期間だけでは季節変動を学習・評価できない。 背景となる論点は次のとおりである。データ期間は業務サイクルや将来予測条件に合わせて決める。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0033 データ収集 > データ入手・収集計画 ｜ 難易度：基礎

研修資料に「利用許諾の範囲、再利用・学習利用・第三者提供等の条件、品質と出所を確認する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 入手できることと自由に使えることは同義ではない。

イ. 契約や権利条件に従う必要がある。

ウ. 目的への適合性と品質が必要である。

エ. 利用前に確認すべきである。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『利用許諾の範囲、再利用・学習利用・第三者提供等の条件、品質と出所を確認する。』である。

イ： この説明は別の論点『購入したデータは無条件で全用途に使えると考える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『データ内容を見ず価格だけで選ぶ。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『利用条件はモデル公開後に確認すればよい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『利用許諾の範囲、再利用・学習利用・第三者提供等の条件、品質と出所を確認する。』である。入手できることと自由に使えることは同義ではない。 背景となる論点は次のとおりである。外部データでは契約・権利・更新頻度・品質の確認が重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0034 データ収集 > データ入手・収集計画 ｜ 難易度：標準

ある受験者が「現象の変化速度に関係なく年1回に固定する。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 対象現象に合わせる必要がある。

イ. コストや不要データ増加を考える必要がある。

ウ. 頻度が低すぎると重要な変化を取り逃し、高すぎるとコストが増える。

エ. 特徴の観測可能性に影響する。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『現象の変化速度に関係なく年1回に固定する。』である。

イ： この説明は別の論点『常に最大頻度で収集すれば最適である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『検出したい現象の時間スケールと保存・通信コストを考えて十分な頻度を選ぶ。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『サンプリング頻度はモデル性能に影響しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『現象の変化速度に関係なく年1回に固定する。』である。対象現象に合わせる必要がある。 正しい理解の背景は次のとおりである。データ取得仕様はモデル要件とシステム制約を同時に考える。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0035 データ収集 > データ入手・収集計画 ｜ 難易度：標準

AI関連の資料レビューで「列名が同じなら意味も必ず同じだから不要である。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. システムごとに定義が異なることがある。

イ. 項目定義・メタデータを管理する。

ウ. データの意味を揃えないと誤った特徴量を作る可能性がある。

エ. 品質改善は別工程である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『列名が同じなら意味も必ず同じだから不要である。』である。

イ：この説明は別の論点『データ辞書はモデルの重みを保存するためのファイルだから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『同じ列名でも意味・単位・コード体系が異なる場合があり、項目定義を明確にして誤統合を防ぐため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『データ辞書を作ると欠損値が自動的に全て補完される。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『列名が同じなら意味も必ず同じだから不要である。』である。システムごとに定義が異なることがある。 正しい理解の背景は次のとおりである。単位、時刻基準、コード値、更新周期、生成元を記録する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0036 データ収集 > データ入手・収集計画 ｜ 難易度：標準

次の主張「学習時と本番時の取得条件が異なると、分布差や利用不能な特徴量が生じる可能性があるため。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 本番で取得できない情報に依存するモデルは運用できない。

イ. 分布差は性能低下要因となり得る。

ウ. 推論には入力データが必要である。

エ. 内容・タイミング・定義の整合が重要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『学習時と本番時の取得条件が異なると、分布差や利用不能な特徴量が生じる可能性があるため。』である。

イ：この説明は別の論点『本番と学習の入力経路は異なるほど必ず精度が上がる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『本番ではデータを使わないから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『学習データはファイル名だけ一致すればよい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『学習時と本番時の取得条件が異なると、分布差や利用不能な特徴量が生じる可能性があるため。』である。本番で取得できない情報に依存するモデルは運用できない。背景となる論点は次のとおりである。training-serving skewを防ぐため、特徴量生成と取得仕様を整合させる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0037 データ収集 > データ入手・収集計画 ｜ 難易度：標準

学習者が「一地域のデータを複製すれば全国代表になる。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 複製しても情報の多様性は増えない。

イ. 収集母集団の代表性が汎化性能へ影響する。

ウ. 分布差により性能差が生じ得る。

エ. むしろ公平性リスクとなる。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『一地域のデータを複製すれば全国代表になる。』である。

イ： この説明は別の論点『他地域の利用者に対する性能を十分に推定できず、実運用で偏った結果になる可能性がある。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『地域偏りはモデル性能に一切影響しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『偏りがあるほど公平性は自動的に高まる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『一地域のデータを複製すれば全国代表になる。』である。複製しても情報の多様性は増えない。 正しい理解の背景は次のとおりである。対象母集団とサンプリング方法を収集計画に明記する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0038 データ収集 > データ入手・収集計画 ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「タイムゾーンや時計ずれ、イベント時刻と記録時刻の違いを定義し、時系列順序を正しく扱えるようにする。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 時刻の不整合は将来情報の混入や誤った順序付けにつながる。

イ. 定義・基準を確認する必要がある。

ウ. 時系列情報を破壊する。

エ. 他の特徴からも漏洩し得る。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『タイムゾーンや時計ずれ、イベント時刻と記録時刻の違いを定義し、時系列順序を正しく扱えるようにする。』である。

イ： この説明は別の論点『時刻は常に同じ文字列であれば意味を確認しなくてよい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『すべての時刻をランダムに入れ替える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『時刻を削除すると未来情報漏洩が必ずなくなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『タイムゾーンや時計ずれ、イベント時刻と記録時刻の違いを定義し、時系列順序を正しく扱えるようにする。』である。時刻の不整合は将来情報の混入や誤った順序付けにつながる。 背景となる論点は次のとおりである。時系列AIでは利用可能時点を厳密に管理することが重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0039 データ収集 > データ入手・収集計画 ｜ 難易度：応用

教材の草案に「最も取得しにくいデータだけを必ず優先する。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. コスト・プライバシー・管理負担が増える。

イ. 寄与度と費用対効果で判断する。

ウ. 全項目を無制限に収集するより、目的に必要なデータを選ぶ。

エ. 重要な継続コストである。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『利用可能な全データを目的に関係なく永久保存する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『最も取得しにくいデータだけを必ず優先する。』である。

ウ：この説明は別の論点『モデル性能や事業判断に寄与する情報を仮説に基づいて優先し、収集価値を検証しながら拡張する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『収集コストはAIプロジェクトの費用に含めない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『最も取得しにくいデータだけを必ず優先する。』である。寄与度と費用対効果で判断する。 正しい理解の背景は次のとおりである。小規模収集で有用性を検証し、必要に応じて追加取得する方法もある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0040 データ収集 > データ入手・収集計画 ｜ 難易度：応用

「新しい本番データと結果を継続的に記録し、品質・権利・ラベル確定方法を含めて再学習可能な形で管理する。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 環境変化に対応できない場合がある。

イ. モデル更新まで見通したデータライフサイクル設計が必要である。

ウ. 品質や誤ラベルを確認する必要がある。

エ. 継続比較のため基準を維持・記録する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『初回学習後はデータ収集を永久に停止する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『新しい本番データと結果を継続的に記録し、品質・権利・ラベル確定方法を含めて再学習可能な形で管理する。』である。

ウ：この説明は別の論点『新データは評価せず自動的に全件学習へ投入する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『再学習時は過去の評価基準を全て削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『新しい本番データと結果を継続的に記録し、品質・権利・ラベル確定方法を含めて再学習可能な形で管理する。』である。モデル更新まで見通したデータライフサイクル設計が必要である。 背景となる論点は次のとおりである。再学習条件、データ保存期間、品質確認、バージョン管理も計画に含める。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0041 データ収集 > データ品質・欠損・偏り ｜ 難易度：基礎

研修資料に「正確性、完全性、一貫性、代表性、鮮度など、目的に対してデータが適切かという性質を含む。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 量と品質は別である。

イ. データ品質は単純な件数だけでは評価できない。

ウ. 影響に応じた処理を検討する。

エ. 開発全体で継続確認する。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『ファイル容量が大きいほど必ず高品質である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『正確性、完全性、一貫性、代表性、鮮度など、目的に対してデータが適切かという性質を含む。』である。

ウ： この説明は別の論点『欠損が1件でもあれば全データを必ず廃棄する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『データ品質はモデル選定後には確認できない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『正確性、完全性、一貫性、代表性、鮮度など、目的に対してデータが適切かという性質を含む。』である。データ品質は単純な件数だけでは評価できない。 背景となる論点は次のとおりである。データ品質の評価基準は利用目的とリスクに応じて定める。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0042 データ収集 > データ品質・欠損・偏り ｜ 難易度：基礎

ある受験者が「欠損の有無はモデル性能に影響しない。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 0が実値として意味を持つ場合に誤解を招く。

イ. 処理方法により性能や偏りが変わる。

ウ. 欠損は単なる空欄ではなく、発生機構自体が情報を持つことがある。

エ. データ損失や偏りを増やす可能性がある。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『すべての欠損を無条件で0に置き換える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『欠損の有無はモデル性能に影響しない。』である。

ウ： この説明は別の論点『欠損理由と発生パターンを確認し、削除・補完・欠損フラグ利用などを目的に応じて選ぶ。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『欠損行は必ず全件削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『欠損の有無はモデル性能に影響しない。』である。処理方法により性能や偏りが変わる。 正しい理解の背景は次のとおりである。欠損処理は訓練データだけで学習し、検証・テストへ同じ変換を適用する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0043 データ収集 > データ品質・欠損・偏り ｜ 難易度：基礎

AI関連の資料レビューで「年齢はAIで扱えない変数だから。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 平均値の符号とは関係ない。

イ. 扱えるが公平性・プライバシー等を考慮する。

ウ. ラベルが消えるわけではない。

エ. 欠損機構がランダムでない場合は特に慎重な分析が必要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『平均は常に負の数になるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『年齢はAIで扱えない変数だから。』である。

ウ： この説明は別の論点『補完後は必ずラベルが消えるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『欠損が属性と関連しているため、平均補完で分布の偏りや関係性を隠す可能性がある。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『年齢はAIで扱えない変数だから。』である。扱えるが公平性・プライバシー等を考慮する。 正しい理解の背景は次のとおりである。欠損パターンを属性別に可視化し、バイアスへの影響を評価する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0044 データ収集 > データ品質・欠損・偏り ｜ 難易度：標準

次の主張「誤った教師信号を学習し、性能低下や不安定な評価につながる。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 一般には性能を損なう可能性がある。

イ. ラベル品質は教師あり学習の性能上限を左右する。

ウ. 教師あり学習に直接影響する。

エ. 自動検出には限界がある。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『ラベルノイズが増えるほど必ず汎化性能が上がる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『誤った教師信号を学習し、性能低下や不安定な評価につながる。』である。

ウ： この説明は別の論点『ラベルノイズは教師なし学習にしか影響しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『誤ラベルはモデルが自動的に100%検出できる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『誤った教師信号を学習し、性能低下や不安定な評価につながる。』である。ラベル品質は教師あり学習の性能上限を左右する。 背景となる論点は次のとおりである。サンプル監査、複数 annotator、一致率確認などで品質を管理する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0045 データ収集 > データ品質・欠損・偏り ｜ 難易度：標準

学習者が「外れ値を全て平均値へ置換するのが唯一の方法である。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 外れ値を機械的に削除すると重要な異常パターンを失うことがある。

イ. 複数の対応がある。

ウ. 正当な値の場合がある。

エ. 手法によって大きく影響する。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『入力ミスか正当な希少事象かを確認し、目的に応じて修正・除外・保持を判断する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『外れ値を全て平均値へ置換するのが唯一の方法である。』である。

ウ： この説明は別の論点『平均との差が大きい値は必ず誤データなので削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『外れ値はモデルに全く影響しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『外れ値を全て平均値へ置換するのが唯一の方法である。』である。複数の対応がある。 正しい理解の背景は次のとおりである。異常検知タスクでは外れ値自体が目的となる場合もある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0046 データ収集 > データ品質・欠損・偏り ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「特定顧客の特徴が過大に重み付けされ、分布や評価が歪む可能性がある。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 同一情報の複製は独立情報を増やさない。

イ. 重複は有効サンプル数を増やさず偏りを強めることがある。

ウ. そのような機能はない。

エ. 表・画像などでも起きる。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『重複が多いほど必ず独立サンプル数が増える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『特定顧客の特徴が過大に重み付けされ、分布や評価が歪む可能性がある。』である。

ウ： この説明は別の論点『重複は学習率を自動的に0にする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『重複はテキストデータにしか存在しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『特定顧客の特徴が過大に重み付けされ、分布や評価が歪む可能性がある。』である。重複は有効サンプル数を増やさず偏りを強めることがある。 背景となる論点は次のとおりである。重複定義を明確にし、ID・内容・時間などで重複を検査する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0047 データ収集 > データ品質・欠損・偏り ｜ 難易度：標準

教材の草案に「古いデータを複製すれば現在分布を再現できる。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 時代変化を反映しない可能性がある。

イ. 新しい情報は増えない。

ウ. 分布変化に影響する。

エ. データの鮮度は環境変化が速い用途ほど重要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『古いデータは必ず新しいデータより正確である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『古いデータを複製すれば現在分布を再現できる。』である。

ウ： この説明は別の論点『データの時点はAI性能に関係しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『市場や利用者行動が変化していると、学習時と現在の分布が異なり性能が低下する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『古いデータを複製すれば現在分布を再現できる。』である。新しい情報は増えない。 正しい理解の背景は次のとおりである。時系列で性能を比較し、必要に応じて更新・再学習する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0048 データ収集 > データ品質・欠損・偏り ｜ 難易度：標準

「平均が同じでも分布、欠損率、外れ値、カテゴリ構成などが異なる可能性がある。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 基本的な統計量である。

イ. 複数の統計量と分布を確認する必要がある。

ウ. 分布形状は異なり得る。

エ. 法適用の判断とは別である。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『平均値は計算できない統計量だから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『平均が同じでも分布、欠損率、外れ値、カテゴリ構成などが異なる可能性がある。』である。

ウ： この説明は別の論点『平均が同じなら全データは必ず同一だから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『平均を使うと個人情報保護法が必ず適用されなくなるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『平均が同じでも分布、欠損率、外れ値、カテゴリ構成などが異なる可能性がある。』である。複数の統計量と分布を確認する必要がある。 背景となる論点は次のとおりである。品質監査では分位点、分散、カテゴリ比率、欠損率等も確認する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0049 データ収集 > データ品質・欠損・偏り ｜ 難易度：応用

研修資料に「そのグループの件数、ラベル品質、特徴分布、欠損率が他グループと異ならないか確認する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 局所的な性能差を見落とす。

イ. 性能差には収集・ラベル・代表性の偏りが関係する場合がある。

ウ. 問題を隠すだけで適切な改善とは限らない。

エ. データ品質が原因なら解決しないことがある。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『全体Accuracyだけを見て属性別評価を止める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『そのグループの件数、ラベル品質、特徴分布、欠損率が他グループと異ならないか確認する。』である。

ウ：この説明は別の論点『低性能グループのデータを全削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『モデルサイズだけを増やせば必ず解消すると考える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『そのグループの件数、ラベル品質、特徴分布、欠損率が他グループと異ならないか確認する。』である。性能差には収集・ラベル・代表性の偏りが関係する場合がある。 背景となる論点は次のとおりである。データ偏りとモデル偏りを分けて分析し、必要なら収集・重み付け・評価設計を見直す。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0050 データ収集 > データ品質・欠損・偏り ｜ 難易度：応用

ある受験者が「モデルの予測だけを見て入力データを一切検査しない。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 品質条件を機械的に監視すると異常データの早期発見に役立つ。

イ. 入力異常を見逃す。

ウ. 属人化し再現性が低い。

エ. 異常として扱うべき場合がある。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『必須列の欠損率、値域、カテゴリ候補、重複件数などをパイプラインで継続チェックする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『モデルの予測だけを見て入力データを一切検査しない。』である。

ウ：この説明は別の論点『品質ルールを担当者の記憶だけで管理する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『値域外データを全て自動的に正しい値とみなす。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『モデルの予測だけを見て入力データを一切検査しない。』である。入力異常を見逃す。 正しい理解の背景は次のとおりである。データ契約やスキーマ検証を運用へ組み込むと品質劣化を検知しやすい。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0051 データ収集 > データ利用条件・権利・プライバシーへの配慮 ｜ 難易度：基礎

AI関連の資料レビューで「閲覧できるデータは全て権利が消滅している。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 公開情報でも個人情報に該当し得る。

イ. 公開されても権利が存続する場合がある。

ウ. アクセス可能性と法的・契約上の利用可能性は別である。

エ. 契約条件等を確認する必要がある。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『URLがあるデータは個人情報にならない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『閲覧できるデータは全て権利が消滅している。』である。

ウ： この説明は別の論点『公開されているだけで無条件に自由利用できるとは限らず、著作権、個人情報、利用規約等を確認する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『AI学習目的なら利用規約は常に無視できる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『閲覧できるデータは全て権利が消滅している。』である。公開されても権利が存続する場合がある。 正しい理解の背景は次のとおりである。データの入手経路、権利者、利用目的、契約条件を記録することが重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0052 データ収集 > データ利用条件・権利・プライバシーへの配慮 ｜ 難易度：基礎

次の主張「利用目的をできる限り具体的に特定し、その目的や法令上の条件に沿って適切に取り扱う。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. AI用途でも個人情報保護法上の義務を確認する必要がある。

イ. 個人情報保護法では利用目的の特定や適正な取扱いが求められる。

ウ. 公開義務ではなく適切な保護が必要である。

エ. 件数だけで義務が消えるわけではない。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『個人情報はAI開発なら利用目的を示さず自由に使える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『利用目的をできる限り具体的に特定し、その目的や法令上の条件に沿って適切に取り扱う。』である。

ウ： この説明は別の論点『氏名を含むデータは必ず全て公開しなければならない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『データ件数が少なければ個人情報保護は一切不要である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『利用目的をできる限り具体的に特定し、その目的や法令上の条件に沿って適切に取り扱う。』である。個人情報保護法では利用目的の特定や適正な取扱いが求められる。 背景となる論点は次のとおりである。具体的な適法性は取得方法・利用目的・第三者提供等の状況により判断する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0053 データ収集 > データ利用条件・権利・プライバシーへの配慮 ｜ 難易度：基礎

学習者が「有名なサービスなら機密情報を無条件で入力してよい。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 外部サービスへ入力した情報の取扱条件を確認する必要がある。

イ. 知名度だけで適法性・安全性は決まらない。

ウ. 入力前の確認が必要である。

エ. 不要な個人情報入力はリスクを増やす。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『サービス提供者が入力データをどのように利用・保存するかを確認し、組織のルールと法的要件に照らして入力可否を判断する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『有名なサービスなら機密情報を無条件で入力してよい。』である。

ウ：この説明は別の論点『入力後に利用規約を確認すれば十分である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『個人名を含めるほどAIの安全性が高まる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『有名なサービスなら機密情報を無条件で入力してよい。』である。知名度だけで適法性・安全性は決まらない。 正しい理解の背景は次のとおりである。個人情報保護委員会は生成AI利用に関する注意喚起を公表している。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0054 データ収集 > データ利用条件・権利・プライバシーへの配慮 ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「学習利用の可否、利用範囲、再提供、成果物・派生データの扱い、契約終了後の取扱い等を確認する。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 利用権限は契約等で定める場合がある。

イ. データ取引では当事者間の利用権限を具体化することが重要である。

ウ. 技術的可能性と権利は別である。

エ. 利用前に確認する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『データを受領すれば契約条件は不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『学習利用の可否、利用範囲、再提供、成果物・派生データの扱い、契約終了後の取扱い等を確認する。』である。

ウ：この説明は別の論点『ファイルをコピーできることが法的利用権限を意味する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『利用条件はモデル完成後だけ確認する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『学習利用の可否、利用範囲、再提供、成果物・派生データの扱い、契約終了後の取扱い等を確認する。』である。データ取引では当事者間の利用権限を具体化することが重要である。 背景となる論点は次のとおりである。権利関係が不明確なまま学習すると、後の提供・再利用で問題が生じる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0055 データ収集 > データ利用条件・権利・プライバシーへの配慮 ｜ 難易度：標準

教材の草案に「個人データを誰でも閲覧できる共有フォルダへ置く。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. インシデント対応体制が必要である。

イ. アクセス制御が不十分である。

ウ. 技術的・組織的・人的・物理的な安全管理をリスクに応じて行う。

エ. 権限管理上のリスクになる。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『漏えい時の連絡先を決めずに運用する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『個人データを誰でも閲覧できる共有フォルダへ置く。』である。

ウ： この説明は別の論点『アクセス権限を必要な担当者に限定し、取扱状況を記録・監督する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『退職者のアカウントを永久に有効にする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『個人データを誰でも閲覧できる共有フォルダへ置く。』である。アクセス制御が不十分である。 正しい理解の背景は次のとおりである。安全管理措置はデータの性質・量・事業規模等のリスクに応じて適切に設計する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0056 データ収集 > データ利用条件・権利・プライバシーへの配慮 ｜ 難易度：標準

「目的に不要な個人情報や機密情報を減らし、漏えい・目的外利用等のリスクと管理負担を抑えられる。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 性能とのバランスを評価する必要がある。

イ. データ最小化はプライバシー保護の実務上重要な考え方である。

ウ. 利用目的等の義務は別途確認する。

エ. 適切な加工・管理が必要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『データは少ないほど必ずモデル精度が高くなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『目的に不要な個人情報や機密情報を減らし、漏えい・目的外利用等のリスクと管理負担を抑えられる。』である。

ウ： この説明は別の論点『必要最小限にすると利用目的の設定が不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『個人情報は削除しなくても必ず匿名になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『目的に不要な個人情報や機密情報を減らし、漏えい・目的外利用等のリスクと管理負担を抑えられる。』である。データ最小化はプライバシー保護の実務上重要な考え方である。背景となる論点は次のとおりである。取得目的とモデル性能への寄与を照合し、不要項目を持たない設計を検討する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0057 データ収集 > データ利用条件・権利・プライバシーへの配慮 ｜ 難易度：標準

研修資料に「識別子を置き換えるだけで常に匿名になるわけではなく、他情報との照合可能性や法的定義を確認する必要がある。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 法的要件や他属性からの識別可能性を考える必要がある。

イ. 単純な氏名削除でも再識別可能性が残る場合がある。

ウ. 適切な管理が必要である。

エ. プライバシー加工と品質は別の観点である。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『氏名を削除すればどのデータも自動的に匿名加工情報になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『識別子を置き換えるだけで常に匿名になるわけではなく、他情報との照合可能性や法的定義を確認する必要がある。』である。

ウ： この説明は別の論点『仮名化すると安全管理措置が一切不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『匿名化すればデータ品質は必ず向上する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『識別子を置き換えるだけで常に匿名になるわけではなく、他情報との照合可能性や法的定義を確認する必要がある。』である。単純な氏名削除でも再識別可能性が残る場合がある。 背景となる論点は次のとおりである。匿名加工情報・仮名加工情報には法上の定義と義務があるため、用語を曖昧に使わない。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0058 データ収集 > データ利用条件・権利・プライバシーへの配慮 ｜ 難易度：標準

ある受験者が「学習用にコピーできれば生成物の利用も必ず自由になる。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 著作権はそのように消滅しない。

イ. 学習時と生成・利用時の論点は分けて検討する。

ウ. AIと著作権の関係は利用段階や目的に応じた検討が必要である。

エ. 公開されても著作権が存続し得る。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『AIという名称が付けば著作権は自動的に消滅する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『学習用にコピーできれば生成物の利用も必ず自由になる。』である。

ウ： この説明は別の論点『AI学習だから常に自由、または常に禁止と一律に決めず、利用態様、権利制限規定、契約等を具体的に確認する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『公開Web上の著作物には著作権が存在しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『学習用にコピーできれば生成物の利用も必ず自由になる。』である。学習時と生成・利用時の論点は分けて検討する。 正しい理解の背景は次のとおりである。文化庁はAIと著作権について具体的な考え方を公表している。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0059 データ収集 > データ利用条件・権利・プライバシーへの配慮 ｜ 難易度：応用

AI関連の資料レビューで「出所が分からない方が利用条件を気にせず使えるから。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. モデル圧縮とは無関係である。

イ. むしろリスクが高い。

ウ. 出所が不明なデータは権利・品質・再現性の確認が難しい。

エ. 追跡・説明のためである。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『出所を記録するとモデルのパラメータ数が減るから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『出所が分からない方が利用条件を気にせず使えるから。』である。

ウ： この説明は別の論点『利用条件、品質、更新履歴、問題発生時の追跡可能性を確認できるようにするため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『データのファイル容量を増やすため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『出所が分からない方が利用条件を気にせず使えるから。』である。むしろリスクが高い。 正しい理解の背景は次のとおりである。データカタログやメタデータとして取得元・日付・権利条件等を管理する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0060 データ収集 > データ利用条件・権利・プライバシーへの配慮 ｜ 難易度：応用

次の主張「サービス設計の初期段階から個人情報へのアクセス制御や必要性評価などの保護策を組み込む。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 事前設計が重要である。

イ. 問題が起きてから後付けするのではなく、設計段階から保護を考える。

ウ. 保護と必要性を考える。

エ. データ取扱いも設計対象である。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『公開後に漏えいが起きた場合だけ対策を考える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『サービス設計の初期段階から個人情報へのアクセス制御や必要性評価などの保護策を組み込む。』である。

ウ： この説明は別の論点『すべての個人データを無制限に共有することを意味する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『AIモデルの精度だけを設計しデータ取扱いは対象外とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『サービス設計の初期段階から個人情報へのアクセス制御や必要性評価などの保護策を組み込む。』である。問題が起きてから後付けするのではなく、設計段階から保護を考える。 背景となる論点は次のとおりである。AI事業者ガイドラインでもプライバシー保護の仕組み・対策の導入が示されている。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0061 データ加工・準備 > アノテーション・ラベル付け ｜ 難易度：基礎

学習者が「データを暗号化する作業だけを指す。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. ラベルはモデルが学習する目標を定義する。

イ. アノテーションは教師情報付与である。

ウ. 学習パラメータ設定である。

エ. 計算環境構築である。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『入力データに正解クラス、境界、属性など学習に必要な教師情報を付与する作業。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『データを暗号化する作業だけを指す。』である。

ウ： この説明は別の論点『モデルの重みをランダム初期化する作業。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『GPUを複数台接続する作業。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『データを暗号化する作業だけを指す。』である。アノテーションは教師情報付与である。 正しい理解の背景は次のとおりである。画像分類、物体検出、セグメンテーション等でラベル形式は異なる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0062 データ加工・準備 > アノテーション・ラベル付け ｜ 難易度：基礎

実務上の判断で「判定基準を明確にし、作業者間でラベル基準を揃えて一貫性を高めるため。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 一貫性が低下する。

イ. 曖昧なラベル定義はラベルノイズの原因になる。

ウ. 基準統一が目的である。

エ. 評価は別途必要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『作業者ごとに独自の基準を使わせるため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『判定基準を明確にし、作業者間でラベル基準を揃えて一貫性を高めるため。』である。

ウ： この説明は別の論点『ラベル数を無条件に増やすため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『モデル評価を不要にするため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『判定基準を明確にし、作業者間でラベル基準を揃えて一貫性を高めるため。』である。曖昧なラベル定義はラベルノイズの原因になる。 背景となる論点は次のとおりである。例示、境界事例、判断不能時の扱いを文書化すると品質を管理しやすい。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0063 データ加工・準備 > アノテーション・ラベル付け ｜ 難易度：基礎

教材の草案に「モデル学習を行わずに本番精度を保証する。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 目的は品質確認である。

イ. ラベル品質確認は性能保証ではない。

ウ. 複数評価者はラベル信頼性の確認に役立つ。

エ. 独立データが増えるわけではない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『必ず全員が同じ誤りをするようにする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『モデル学習を行わずに本番精度を保証する。』である。

ウ：この説明は別の論点『一致度を測定し、曖昧な基準や個人差を発見できる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『データ件数を物理的に無限に増やす。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『モデル学習を行わずに本番精度を保証する。』である。ラベル品質確認は性能保証ではない。 正しい理解の背景は次のとおりである。不一致例をレビューしてガイドラインを改善する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0064 データ加工・準備 > アノテーション・ラベル付け ｜ 難易度：標準

「必要な専門性を持つ担当者を配置し、難しいケースは専門家レビューや合議を行う。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 専門判断が必要な場合に品質が低下する。

イ. タスクに必要な知識を持たない作業者だけではラベル信頼性が不足する可能性がある。

ウ. ラベル偏りを生む。

エ. 一貫性が確保できない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『専門性に関係なく最安の作業者だけで全件決める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『必要な専門性を持つ担当者を配置し、難しいケースは専門家レビューや合議を行う。』である。

ウ：この説明は別の論点『難しい症例は無条件で多数派クラスにする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『ラベル定義を作らず各自の直感だけで決める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『必要な専門性を持つ担当者を配置し、難しいケースは専門家レビューや合議を行う。』である。タスクに必要な知識を持たない作業者だけではラベル信頼性が不足する可能性がある。 背景となる論点は次のとおりである。ラベルの不確実性も記録し、評価時に考慮することがある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0065 データ加工・準備 > アノテーション・ラベル付け ｜ 難易度：標準

研修資料に「画像中の対象物のクラスと境界ボックスを付与する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 画像分類のラベルに近い。

イ. 物体検出では位置とカテゴリの両方が必要になる。

ウ. 一般的な物体検出ラベルではない。

エ. 音声認識のラベルである。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『画像全体に一つのクラス名だけを付ける。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『画像中の対象物のクラスと境界ボックスを付与する。』である。

ウ：この説明は別の論点『各画素へ必ず連続値の温度を付ける。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『音声へ文字起こしを付ける。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『画像中の対象物のクラスと境界ボックスを付与する。』である。物体検出では位置とカテゴリの両方が必要になる。 背景となる論点は次のとおりである。タスクに応じてbounding box、polygon、mask等を使い分ける。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0066 データ加工・準備 > アノテーション・ラベル付け ｜ 難易度：標準

ある受験者が「時系列をランダムに並べ替える。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 画像分類である。

イ. アノテーションではない。

ウ. 画素単位の教師情報が必要である。

エ. 自然言語分類である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『画像全体へ一つのクラスだけ付ける。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『時系列をランダムに並べ替える。』である。

ウ：この説明は別の論点『対象領域の各画素にクラスを対応づけるマスクを作成する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『文章へ感情ラベルだけ付ける。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『時系列をランダムに並べ替える。』である。アノテーションではない。 正しい理解の背景は次のとおりである。詳細な画素ラベルは高コストなため、品質と費用の計画が重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0067 データ加工・準備 > アノテーション・ラベル付け ｜ 難易度：標準

AI関連の資料レビューで「判断不能を作るとガイドラインが不要になる。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 必要なケースだけに使う。

イ. むしろ定義を明確にする必要がある。

ウ. 用途に応じて除外・別クラス等を検討する。

エ. 強制的な二者択一は誤ラベルを増やすことがある。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『全データを判断不能にして学習を不要にする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『判断不能を作るとガイドラインが不要になる。』である。

ウ：この説明は別の論点『判断不能は必ず正解クラスとして学習すべきである。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『曖昧なデータを無理に既存クラスへ割り当てることを避け、後で専門レビューできる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『判断不能を作るとガイドラインが不要になる。』である。むしろ定義を明確にする必要がある。 正しい理解の背景は次のとおりである。曖昧さを記録することはラベル品質の透明性につながる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0068 データ加工・準備 > アノテーション・ラベル付け ｜ 難易度：標準

次の主張「ランダムサンプルや難易度別サンプルを再確認し、誤ラベル率や基準違反を測る。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. ヒューマンエラーがあり得る。

イ. 品質を定量化して再作業条件を決める。

ウ. ラベル品質も確認する。

エ. 実データの監査が必要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『納品されたラベルは無条件で100%正しいとみなす。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『ランダムサンプルや難易度別サンプルを再確認し、誤ラベル率や基準違反を測る。』である。

ウ：この説明は別の論点『モデル精度が低ければ全てモデルの責任とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『作業者名だけ見て内容を確認しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『ランダムサンプルや難易度別サンプルを再確認し、誤ラベル率や基準違反を測る。』である。品質を定量化して再作業条件を決める。 背景となる論点は次のとおりである。モデルの不一致例を用いたラベル再確認も品質改善に役立つことがある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0069 データ加工・準備 > アノテーション・ラベル付け ｜ 難易度：応用

学習者が「クラス定義変更はモデル性能に影響しない。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. ラベル意味が混在すると学習・評価が不整合になる。

イ. 教師信号の意味が変わるため影響する。

ウ. 意味が不一致になる。

エ. 再現性を失う。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『旧ラベルとの対応関係、変更時点、再アノテーション対象を記録し、データセットのバージョンを管理する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『クラス定義変更はモデル性能に影響しない。』である。

ウ： この説明は別の論点『旧定義と新定義を区別せず同じラベル名で混在させる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『変更履歴を削除して最新版だけが存在したことにする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『クラス定義変更はモデル性能に影響しない。』である。教師信号の意味が変わるため影響する。 正しい理解の背景は次のとおりである。ラベルスキーマもコードやデータと同様にバージョン管理する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0070 データ加工・準備 > アノテーション・ラベル付け ｜ 難易度：応用

実務上の判断で「重要・不確実なサンプルを優先的に専門レビューし、簡単なサンプルは標準手順で処理する。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 誤ラベル増加のリスクがある。

イ. 全件を同じ高コスト手順にする以外にも、リスクに応じた品質管理が可能である。

ウ. 一貫性が低下する。

エ. 情報量は増えない。

答え・解説 **正答：イ**

ア： この説明は別の論点『品質確認を完全に廃止する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『重要・不確実なサンプルを優先的に専門レビューし、簡単なサンプルは標準手順で処理する。』である。

ウ： この説明は別の論点『作業者へラベル定義を知らせない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： この説明は別の論点『同じデータを無限に複製してラベル件数を増やす。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『重要・不確実なサンプルを優先的に専門レビューし、簡単なサンプルは標準手順で処理する。』である。全件を同じ高コスト手順にする以外にも、リスクに応じた品質管理が可能である。 背景となる論点は次のとおりである。アクティブラーニング的に不確実例へラベル予算を集中する考え方もある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0071 データ加工・準備 > 前処理・クレンジング ｜ 難易度：基礎

教材の草案に「データ件数を増やすことだけを目的とする。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 情報を失う。

イ. 品質整備が主目的である。

ウ. データリーケージである。

エ. 元データの意味を理解したうえで品質問題を処理する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『すべての値を同じ値へ置き換える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『データ件数を増やすことだけを目的とする。』である。

ウ：この説明は別の論点『正解ラベルをテストデータから訓練へコピーする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『重複、形式不整合、明らかな入力誤りなどを検出・修正し、分析・学習に適した状態へ整える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『データ件数を増やすことだけを目的とする。』である。品質整備が主目的である。 正しい理解の背景は次のとおりである。クレンジングルールと変更履歴を記録し、再現可能にする。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0072 データ加工・準備 > 前処理・クレンジング ｜ 難易度：基礎

「コード体系や表記ルールを定め、同一カテゴリとして正規化する。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 意味が同じなら不必要な分割になる。

イ. 表記揺れを放置すると別カテゴリとして扱われる可能性がある。

ウ. 有用な情報を失う可能性がある。

エ. 入力カテゴリの統一とは別である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『3種類を必ず異なる都市として学習させる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『コード体系や表記ルールを定め、同一カテゴリとして正規化する。』である。

ウ：この説明は別の論点『カテゴリ列を全て削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『ラベル列へ置き換える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『コード体系や表記ルールを定め、同一カテゴリとして正規化する。』である。表記揺れを放置すると別カテゴリとして扱われる可能性がある。 背景となる論点は次のとおりである。大文字小文字、全半角、単位、コード値の統一もクレンジングの対象となる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0073 データ加工・準備 > 前処理・クレンジング ｜ 難易度：基礎

研修資料に「訓練データだけから平均・分散等を求め、同じ変換を検証・テストデータへ適用する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 評価データ情報が訓練工程へ混入する。

イ. 検証・テストの情報を前処理学習に使うとデータリーケージになる。

ウ. テスト情報を学習工程に使ってしまう。

エ. 本番と評価で変換を揃える必要がある。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『全データをまとめて平均・分散計算してから分割する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『訓練データだけから平均・分散等を求め、同じ変換を検証・テストデータへ適用する。』である。

ウ：この説明は別の論点『テストデータだけで変換パラメータを決める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『データセットごとに異なる基準で自由に変換する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『訓練データだけから平均・分散等を求め、同じ変換を検証・テストデータへ適用する。』である。検証・テストの情報を前処理学習に使うとデータリーケージになる。背景となる論点は次のとおりである。前処理も学習パイプラインの一部としてfit/transformを分ける。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0074 データ加工・準備 > 前処理・クレンジング ｜ 難易度：標準

ある受験者が「カテゴリ名を五十音順に並べたい場合。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 対数変換でスケール差や歪みを緩和できる場合がある。

イ. カテゴリ処理とは別である。

ウ. アノテーションである。

エ. 評価設計である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『正の連続値が強く右に歪み、桁違いの大きな値が存在する場合。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『カテゴリ名を五十音順に並べたい場合。』である。

ウ：この説明は別の論点『画像の物体位置を付与したい場合。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『テストラベルを隠したい場合。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『カテゴリ名を五十音順に並べたい場合。』である。カテゴリ処理とは別である。 正しい理解の背景は次のとおりである。変換後の解釈や0・負値の扱いを確認する必要がある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0075 データ加工・準備 > 前処理・クレンジング ｜ 難易度：標準

AI関連の資料レビューで「連続値の平均を計算する場合。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 符号化と無関係である。

イ. カテゴリ符号化ではない。

ウ. カテゴリに不適切な大小関係を持ち込まず数値化できる。

エ. ラベル品質管理とは別である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『時系列を未来から過去へ並べ替える場合。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『連続値の平均を計算する場合。』である。

ウ：この説明は別の論点『順序を持たないカテゴリ変数を複数の二値列として表現する場合。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『ラベルの誤りを自動修正する場合。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『連続値の平均を計算する場合。』である。カテゴリ符号化ではない。 正しい理解の背景は次のとおりである。高カーディナリティでは次元増加を考慮し、別表現も検討する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0076 データ加工・準備 > 前処理・クレンジング ｜ 難易度：標準

次の主張「cmとmなどの単位を識別し、意味を確認して統一単位へ変換する。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 単位違いかもしれないため確認が必要である。

イ. 単位不整合は大きな数値誤差を生む。

ウ. 尺度が混在し誤学習につながる。

エ. 値の単位統一が必要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：この説明は別の論点『数値が大きい方を外れ値として全て削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『cmとmなどの単位を識別し、意味を確認して統一単位へ変換する。』である。

ウ：この説明は別の論点『単位を無視してそのまま学習する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：この説明は別の論点『列名だけ変更して値は変換しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『cmとmなどの単位を識別し、意味を確認して統一単位へ変換する。』である。単位不整合は大きな数値誤差を生む。 背景となる論点は次のとおりである。データ辞書とバリデーションルールで再発を防ぐ。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0077 データ加工・準備 > 前処理・クレンジング ｜ 難易度：標準

学習者が「未来データを含めるほど実運用性能も必ず上がる。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 未来情報を使うと評価が不当に良くなる。

イ. 未来情報混入が典型例である。

ウ. 本番では未来情報を利用できない。

エ. 局所窓で計算する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『予測時点より未来の値を窓に含めないよう、利用可能時点を厳密に守る。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『時系列ではデータリーケージは起こらない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『未来データを含めるほど実運用性能も必ず上がる。』である。

エ： この説明は別の論点『移動平均は必ず全期間の平均と同じである。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『未来データを含めるほど実運用性能も必ず上がる。』である。本番では未来情報を利用できない。 正しい理解の背景は次のとおりである。特徴量生成時刻と予測基準時刻を定義する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0078 データ加工・準備 > 前処理・クレンジング ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「処理ミスの追跡、再現、別ルールでの再処理のために原本と変換履歴を残す必要があるため。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 一律に違法ではない。

イ. 無関係である。

ウ. データ処理の再現性・監査性を確保する。

エ. むしろ検証に役立つ。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『元データは必ず違法だから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『上書きするとモデルの層数が変わるから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『処理ミスの追跡、再現、別ルールでの再処理のために原本と変換履歴を残す必要があるため。』である。

エ： この説明は別の論点『原本を残すと評価指標が計算できないから。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『処理ミスの追跡、再現、別ルールでの再処理のために原本と変換履歴を残す必要があるため。』である。データ処理の再現性・監査性を確保する。 背景となる論点は次のとおりである。raw/processedを分離し、処理コードとデータ版を管理する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0079 データ加工・準備 > 前処理・クレンジング ｜ 難易度：応用

教材の草案に「IDは数値なら必ず有用な連続特徴である。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. ID自体や他データとの関係を確認する必要がある。

イ. 識別子がラベルや時期と相関してリーケージの原因になることがある。

ウ. 意味のない番号の場合が多い。

エ. モデルがパターンとして利用することがある。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『IDを入れると個人情報保護の問題は必ず解消する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『IDが単なる識別子か、順序やグループなど目的外の情報を偶然含んでいないか確認する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『IDは数値なら必ず有用な連続特徴である。』である。

エ：この説明は別の論点『IDはモデルが常に無視するので確認不要である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『IDは数値なら必ず有用な連続特徴である。』である。意味のない番号の場合が多い。 正しい理解の背景は次のとおりである。特徴量は「予測時点で利用可能か」「意味のある因果・関連があるか」を点検する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0080 データ加工・準備 > 前処理・クレンジング ｜ 難易度：応用

「訓練・評価・本番で同じ変換を再現しやすくし、手作業の不一致を減らせる。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 入力品質監視は必要である。

イ. 一貫性を保つためにコード化する。

ウ. 前処理差によるtraining-serving skewを防ぎやすい。

エ. 評価は別途必要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『コード化するとデータ品質確認が不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『前処理を毎回ランダムに変更できる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『訓練・評価・本番で同じ変換を再現しやすくし、手作業の不一致を減らせる。』である。

エ：この説明は別の論点『モデル評価をしなくてよくなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『訓練・評価・本番で同じ変換を再現しやすくし、手作業の不一致を減らせる。』である。前処理差によるtraining-serving skewを防ぎやすい。 背景となる論点は次のとおりである。前処理コード、パラメータ、データ版をセットで管理する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0081 データ加工・準備 > 訓練・検証・テストデータの設計 ｜ 難易度：基礎

研修資料に「訓練でモデルを学習し、検証でハイパーパラメータ等を選び、テストで最終的な未知データ性能を評価する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 役割が逆転している。

イ. 独立評価にならない。

ウ. 役割を分離して過大評価を防ぐ。

エ. テストは最終評価用に保持する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『訓練で最終評価し、検証でラベル作成し、テストで学習する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『3つすべて同じデータを使う。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『訓練でモデルを学習し、検証でハイパーパラメータ等を選び、テストで最終的な未知データ性能を評価する。』である。

エ： この説明は別の論点『テストデータだけでモデルを学習する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『訓練でモデルを学習し、検証でハイパーパラメータ等を選び、テストで最終的な未知データ性能を評価する。』である。役割を分離して過大評価を防ぐ。 背景となる論点は次のとおりである。テストデータはモデル選択に繰り返し使わない。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0082 データ加工・準備 > 訓練・検証・テストデータの設計 ｜ 難易度：基礎

ある受験者が「モデルのファイルサイズだけが大きくなる。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 典型的影響ではない。

イ. 評価対象の情報が学習工程へ漏れると性能を過大評価する。

ウ. リーケージの本質ではない。

エ. むしろ低下し得る。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『学習が必ず停止して1回も更新できなくなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『検証時は高性能に見えるが、実際の未知データでは性能が低下する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『モデルのファイルサイズだけが大きくなる。』である。

エ： この説明は別の論点『本番性能が必ず検証性能より高くなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『モデルのファイルサイズだけが大きくなる。』である。リーケージの本質ではない。 正しい理解の背景は次のとおりである。JDLA公式過去問でもデータリーケージの影響が扱われている。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0083 データ加工・準備 > 訓練・検証・テストデータの設計 ｜ 難易度：基礎

AI関連の資料レビューで「患者IDは画像に一切影響しないので問題ない。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 同一主体の重複が問題である。

イ. 独立性の単位を患者単位で考える必要がある。

ウ. 個体固有の特徴が存在し得る。

エ. 独立評価を損なう。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『画像枚数が増えるほど必ずリーケージがなくなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『同一患者の画像が訓練とテストに分かれ、患者固有特徴を通じたリーケージで性能を過大評価する可能性がある。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『患者IDは画像に一切影響しないので問題ない。』である。

エ： この説明は別の論点『テストデータを訓練へ追加するほど公平になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『患者IDは画像に一切影響しないので問題ない。』である。個体固有の特徴が存在し得る。 正しい理解の背景は次のとおりである。グループ単位分割を使い、同一主体が複数集合へ跨がらないようにする。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0084 データ加工・準備 > 訓練・検証・テストデータの設計 ｜ 難易度：標準

次の主張「過去の期間を訓練、より新しい期間を検証・テストにして、実際の将来予測を模擬する。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 実運用の時間方向と逆である。

イ. 時系列依存を壊す可能性がある。

ウ. ランダム分割では未来情報が訓練へ混ざることがある。

エ. テスト汚染になる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『未来期間を訓練し過去期間をテストする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『全期間をランダムに完全混合すれば常に最適である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『過去の期間を訓練、より新しい期間を検証・テストにして、実際の将来予測を模擬する。』である。

エ： この説明は別の論点『テスト期間を訓練中に毎回参照する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『過去の期間を訓練、より新しい期間を検証・テストにして、実際の将来予測を模擬する。』である。ランダム分割では未来情報が訓練へ混ざることがある。 背景となる論点は次のとおりである。rolling/forward validationなど時間順序を守る評価方法が使われる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0085 データ加工・準備 > 訓練・検証・テストデータの設計 ｜ 難易度：標準

学習者が「検証データを訓練へ混ぜるため。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 分類問題で代表的な分割方法である。

イ. 比率維持が目的である。

ウ. 独立性を保つ。

エ. むしろ確保する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『各集合でクラス比率を大きく崩さず、少数クラスが評価集合から消えることを防ぎやすい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『各集合のクラス比率を必ず逆転させるため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『検証データを訓練へ混ぜるため。』である。

エ： この説明は別の論点『少数クラスを削除するため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『検証データを訓練へ混ぜるため。』である。独立性を保つ。正しい理解の背景は次のとおりである。ただし時系列・グループ構造がある場合は、それらの制約を優先して設計する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0086 データ加工・準備 > 訓練・検証・テストデータの設計 ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「テスト集合に暗黙に適合し、最終評価が楽観的になる。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 独立性が失われる。

イ. 選択バイアスが生じる。

ウ. テストデータも繰り返し意思決定に使えば事実上の検証データになる。

エ. 最終評価用である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『テストデータを見るほど未知データへの独立性が高まる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『テストデータはモデル選択に何度使っても影響しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『テスト集合に暗黙に適合し、最終評価が楽観的になる。』である。

エ： この説明は別の論点『テストデータの役割は学習率調整だけである。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『テスト集合に暗黙に適合し、最終評価が楽観的になる。』である。テストデータも繰り返し意思決定に使えば事実上の検証データになる。 背景となる論点は次のとおりである。最終テストを保持し、開発中は検証データや交差検証を使う。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0087 データ加工・準備 > 訓練・検証・テストデータの設計 ｜ 難易度：標準

教材の草案に「重複データはモデルが必ず無視する。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. むしろ簡単になる場合がある。

イ. 重複は独立性を損なう典型的要因である。

ウ. 記憶・近似で有利になることがある。

エ. 可能だが事前確認が効率的である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『重複があるほどテストは厳しくなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『同一またはほぼ同一データが訓練とテストへ分かれると、記憶によって性能を過大評価する可能性があるため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『重複データはモデルが必ず無視する。』である。

エ：この説明は別の論点『分割後は重複検査が技術的に不可能になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『重複データはモデルが必ず無視する。』である。記憶・近似で有利になることがある。 正しい理解の背景は次のとおりである。近似重複、派生画像、同文書のコピーなども監査する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0088 データ加工・準備 > 訓練・検証・テストデータの設計 ｜ 難易度：標準

「テスト結果だけではその顧客層への汎化性能を評価できない。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 保証できない。

イ. そのような仕組みではない。

ウ. 評価集合は想定本番分布を代表する必要がある。

エ. 本番性能推定には代表性が重要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『テスト精度が高ければ未出現層でも必ず同じ精度になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『未出現層は自動的に訓練データへ追加される。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『テスト結果だけではその顧客層への汎化性能を評価できない。』である。

エ：この説明は別の論点『テストデータは代表性を必要としない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『テスト結果だけではその顧客層への汎化性能を評価できない。』である。評価集合は想定本番分布を代表する必要がある。 背景となる論点は次のとおりである。サブグループ別評価や追加データ収集を検討する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0089 データ加工・準備 > 訓練・検証・テストデータの設計 ｜ 難易度：応用

研修資料に「各foldの訓練部分だけで前処理・特徴選択を学習し、そのfoldの検証部分へ適用する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 検証情報が特徴選択へ混入し得る。

イ. 訓練部分で学習する。

ウ. 全データで前処理を学習すると検証情報が漏れる。

エ. 同じタスク定義を保つ。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『交差検証前に全データで特徴選択を終えるのが常に正しい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『各foldの検証データでモデルを学習する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『各foldの訓練部分だけで前処理・特徴選択を学習し、そのfoldの検証部分へ適用する。』である。

エ： この説明は別の論点『foldごとに正解ラベルを変更する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『各foldの訓練部分だけで前処理・特徴選択を学習し、そのfoldの検証部分へ適用する。』である。全データで前処理を学習すると検証情報が漏れる。 背景となる論点は次のとおりである。Pipelineを使って変換処理ごとfold内でfitするのが実務上有効である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0090 データ加工・準備 > 訓練・検証・テストデータの設計 ｜ 難易度：応用

ある受験者が「モデル完成後に訓練データをコピーしてテストにする。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 本番性能を過大評価する。

イ. テスト集合は「未知の本番性能」の代理として設計する。

ウ. 独立性がない。

エ. 都合の良い選別になる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『最も簡単なサンプルだけを選び高精度を示す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『本番の対象母集団・時期・入力条件をできる限り代表し、開発意思決定から独立したデータを確保する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『モデル完成後に訓練データをコピーしてテストにする。』である。

エ： この説明は別の論点『訓練で誤ったサンプルをテストから除外する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『モデル完成後に訓練データをコピーしてテストにする。』である。独立性がない。 正しい理解の背景は次のとおりである。必要に応じて時期別・属性別・難易度別の評価セットも準備する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0091 分析・モデル開発 > 探索的データ分析・特徴量 ｜ 難易度：基礎

AI関連の資料レビューで「本番環境へのデプロイ作業を省略する。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. EDAはデータの性質や問題点を把握し、前処理・特徴量設計・評価方法を考えるために行う。

イ. EDAだけで最終ハイパーパラメータが自動決定されるわけではない。

ウ. EDAはデプロイ工程を代替しない。

エ. テストデータの正解を学習に利用すると評価が汚染される。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『データの分布、欠損、外れ値、変数間の関係などを把握し、後続の分析方針を決める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『最終モデルのハイパーパラメータを自動的に確定する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『本番環境へのデプロイ作業を省略する。』である。

エ： この説明は別の論点『テストデータの正解ラベルを学習に利用する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『本番環境へのデプロイ作業を省略する。』である。EDAはデプロイ工程を代替しない。 正しい理解の背景は次のとおりである。EDAでは要約統計量や可視化を用い、データの構造・品質・偏りを確認する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0092 分析・モデル開発 > 探索的データ分析・特徴量 ｜ 難易度：基礎

次の主張「散布図を作成して、点の分布や傾向を確認する。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 円グラフは主に構成比の表示に使われ、2連続変数の関係把握には不向きである。

イ. 混同行列は分類予測の評価に使うもので、元の2変数の関係を見る図ではない。

ウ. 散布図は2つの連続変数の関係や外れ値を確認する基本的な方法である。

エ. 先頭行だけでは全体の関係や外れ値を十分把握できない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『円グラフだけを作成する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『モデルの混同行列だけを表示する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『散布図を作成して、点の分布や傾向を確認する。』である。

エ： この説明は別の論点『データを並べ替えずに先頭10行だけを見る。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『散布図を作成して、点の分布や傾向を確認する。』である。散布図は2つの連続変数の関係や外れ値を確認する基本的な方法である。 背景となる論点は次のとおりである。可視化手法は確認したいデータ型と目的に合わせて選ぶ。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0093 分析・モデル開発 > 探索的データ分析・特徴量 ｜ 難易度：基礎

学習者が「値を0と1に変換すれば利用できる。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 本番で利用できない情報なら不適切である。

イ. 訓練との条件が一致せず適切な評価にならない。

ウ. 符号化方法を変えても将来情報である問題は解消しない。

エ. 結果発生後に得られる情報を使うとデータリーケージとなり、本番性能を過大評価しやすい。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『予測精度が上がるなら必ず採用する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『テストデータにだけ残す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『値を0と1に変換すれば利用できる。』である。

エ： この説明は別の論点『予測時点では得られない将来情報なので、原則として特徴量から除外する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『値を0と1に変換すれば利用できる。』である。符号化方法を変えても将来情報である問題は解消しない。 正しい理解の背景は次のとおりである。特徴量は予測時点で実際に利用可能な情報に限定する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0094 分析・モデル開発 > 探索的データ分析・特徴量 ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「大きな値の影響や歪みを緩和できる場合があるが、必ず正規分布になるわけではない。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 対数変換は欠損補完ではない。

イ. 効果はデータとモデルに依存する。

ウ. 対数変換はスケール差や右裾の歪みを緩和することがあるが、分布形状を保証しない。

エ. 通常の対数は0以下にそのまま適用できないため確認が必要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『対数変換を行えば欠損値が自動的に補完される。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『対数変換を行えば全てのモデルで精度が必ず向上する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『大きな値の影響や歪みを緩和できる場合があるが、必ず正規分布になるわけではない。』である。

エ： この説明は別の論点『負の値を含むかどうかを確認する必要はない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『大きな値の影響や歪みを緩和できる場合があるが、必ず正規分布になるわけではない。』である。対数変換はスケール差や右裾の歪みを緩和することがあるが、分布形状を保証しない。 背景となる論点は次のとおりである。変換は目的・値域・モデル特性を踏まえて適用し、変換後の分布も確認する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0095 分析・モデル開発 > 探索的データ分析・特徴量 ｜ 難易度：標準

教材の草案に「カテゴリ名を長い文字列に変換すれば問題は解消する。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 目的変数を使う変換は、検証データの目的変数が変換に漏れないよう分割内で学習する必要がある。

イ. 検証foldの目的変数情報が漏れる可能性がある。

ウ. 文字列表現を変えても情報混入は防げない。

エ. 明確なリーケージになる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『各検証foldの情報が学習側の符号化計算に混入しないよう、foldごとにエンコーダを学習する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『全データの目的変数平均を使って一度だけ符号化してから交差検証する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『カテゴリ名を長い文字列に変換すれば問題は解消する。』である。

エ： この説明は別の論点『テストデータの目的変数も含めて符号化する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『カテゴリ名を長い文字列に変換すれば問題は解消する。』である。文字列表現を変えても情報混入は防げない。 正しい理解の背景は次のとおりである。前処理や特徴量生成も学習データだけでfitし、検証・テストへtransformする。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0096 分析・モデル開発 > 探索的データ分析・特徴量 ｜ 難易度：標準

「距離や勾配の大きさに依存する手法では重要になりやすい一方、決定木系は尺度の影響を比較的受けにくい。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. モデルによって尺度への感度は異なる。

イ. 決定木は標準化なしでも分岐できる。

ウ. k近傍法やSVM、勾配ベースの学習では尺度差が影響しやすい。木は閾値分割なので比較的影響が小さい。

エ. 全データから統計量を算出するとリーケージになり得る。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『全てのアルゴリズムで標準化は数学的に必須である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『決定木では標準化しないと分岐を作れない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『距離や勾配の大きさに依存する手法では重要になりやすい一方、決定木系は尺度の影響を比較的受けにくい。』である。

エ： この説明は別の論点『標準化を行えばデータリーケージは起こらない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『距離や勾配の大きさに依存する手法では重要になりやすい一方、決定木系は尺度の影響を比較的受けにくい。』である。k近傍法やSVM、勾配ベースの学習では尺度差が影響しやすい。木は閾値分割なので比較的影響が小さい。 背景となる論点は次のとおりである。前処理の必要性はアルゴリズムの性質と検証設計の両方から判断する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0097 分析・モデル開発 > 探索的データ分析・特徴量 ｜ 難易度：標準

研修資料に「広告費と繁忙期フラグの積など、交互作用を表す特徴量を追加する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 目的変数を入力に使うとリーケージになる。

イ. 情報が失われる。

ウ. 交互作用項は、2つの変数の同時効果が単純な加算では表しにくい場合に用いられる。

エ. 相互作用を表す情報がなくなる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『目的変数を特徴量として追加する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『全ての特徴量を同じ定数に置き換える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『広告費と繁忙期フラグの積など、交互作用を表す特徴量を追加する。』である。

エ：この説明は別の論点『広告費の列を削除し、繁忙期だけを残す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『広告費と繁忙期フラグの積など、交互作用を表す特徴量を追加する。』である。交互作用項は、2つの変数の同時効果が単純な加算では表しにくい場合に用いられる。 背景となる論点は次のとおりである。業務知識に基づいて非線形性や交互作用を表すことがある。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0098 分析・モデル開発 > 探索的データ分析・特徴量 ｜ 難易度：標準

ある受験者が「相関が高い特徴量があると必ず予測値が全て同じになる。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 問題種別は変わらない。

イ. 係数解釈に影響し得る。

ウ. 必ず一定になるわけではない。

エ. 強い共線性があると説明変数の寄与を分離しにくくなり、係数が不安定になり得る。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『相関が高い特徴量を含むと分類問題に自動変換される。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『相関を確認する必要はなく係数解釈にも影響しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『相関が高い特徴量があると必ず予測値が全て同じになる。』である。

エ：この説明は別の論点『係数推定が不安定になり、各係数の解釈が難しくなる場合がある。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『相関が高い特徴量があると必ず予測値が全て同じになる。』である。必ず一定になるわけではない。 正しい理解の背景は次のとおりである。相関の強い特徴量は、目的が予測か解釈かによって扱い方を検討する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0099 分析・モデル開発 > 探索的データ分析・特徴量 ｜ 難易度：応用

AI関連の資料レビューで「欠損が1件でもある列は必ず削除する。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 欠損パターン自体が情報を持つ場合があるが、原因や本番時の取得条件を確認する必要がある。

イ. 0が実値として意味を持つ場合もある。

ウ. 欠損の程度や意味を見ず一律削除するのは適切でない。

エ. 影響はデータ依存である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『欠損補完に加え、欠損の有無を表すフラグが有用か検証する。ただし将来情報や運用上の偏りも確認する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『欠損値を全て0にすれば欠損理由の検討は不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『欠損が1件でもある列は必ず削除する。』である。

エ：この説明は別の論点『欠損フラグは常に公平性を改善するので必ず追加する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『欠損が1件でもある列は必ず削除する。』である。欠損の程度や意味を見ず一律削除するのは適切でない。 正しい理解の背景は次のとおりである。欠損処理では欠損発生の仕組みと本番条件を検討する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0100 分析・モデル開発 > 探索的データ分析・特徴量 ｜ 難易度：応用

次の主張「PCAは元特徴量の線形結合から新しい軸を作るため、通常は元の特徴量そのものを選ぶ方法ではない。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. PCAは代表的には教師なしの次元削減である。

イ. それは特徴抽出に近い。

ウ. PCAは新しい直交軸を作る。一方、特徴量選択は元の変数の一部を残す。

エ. 主成分は線形結合なので解釈しにくくなる場合がある。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『PCAは目的変数だけを使ってカテゴリを直接予測する手法である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『特徴量選択は必ず全ての特徴量を新しい線形結合に変換する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『PCAは元特徴量の線形結合から新しい軸を作るため、通常は元の特徴量そのものを選ぶ方法ではない。』である。

エ：この説明は別の論点『PCAを使えば必ず元特徴量の意味をそのまま保てる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『PCAは元特徴量の線形結合から新しい軸を作るため、通常は元の特徴量そのものを選ぶ方法ではない。』である。PCAは新しい直交軸を作る。一方、特徴量選択は元の変数の一部を残す。 背景となる論点は次のとおりである。次元削減では予測性能・計算量・解釈性に応じて特徴抽出と特徴選択を使い分ける。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0101 分析・モデル開発 > モデル選択・学習 ｜ 難易度：基礎

学習者が「最終モデルを必ず線形モデルに固定するため。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. テストは最終評価用に保持すべきである。

イ. 単純な基準モデルがあると、追加の複雑性が本当に価値を生むか比較できる。

ウ. ベースラインは比較基準である。

エ. ベースラインの目的ではない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『テストデータを訓練に使うため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『複雑なモデルの改善幅を比較できる基準を持ち、課題設定やデータの妥当性も早く確認するため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『最終モデルを必ず線形モデルに固定するため。』である。

エ： この説明は別の論点『ハイパーパラメータ探索を無制限に行うため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『最終モデルを必ず線形モデルに固定するため。』である。ベースラインは比較基準である。 正しい理解の背景は次のとおりである。まず簡単で再現可能な基準を置き、その後の改善を定量的に比較する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0102 分析・モデル開発 > モデル選択・学習 ｜ 難易度：基礎

実務上の判断で「テストデータは原則として最終評価まで温存し、調整には検証データや交差検証を使う。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. テストデータへの過適合が起きる。

イ. 明確なリーケージである。

ウ. テストデータを調整に使うとテストに過適合し、最終評価の独立性が失われる。

エ. テストは学習用ではない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『各候補モデルの調整のたびにテストデータを使う。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『テストデータの正解を特徴量として追加する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『テストデータは原則として最終評価まで温存し、調整には検証データや交差検証を使う。』である。

エ： この説明は別の論点『訓練データは使わずテストデータだけで学習する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『テストデータは原則として最終評価まで温存し、調整には検証データや交差検証を使う。』である。テストデータを調整に使うとテストに過適合し、最終評価の独立性が失われる。 背景となる論点は次のとおりである。モデル選択と最終評価の役割を分離する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0103 分析・モデル開発 > モデル選択・学習 ｜ 難易度：基礎

教材の草案に「深層学習が最新なので必ず置き換える。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 複雑さ自体は目的ではなく、要求を満たす最小限の複雑性が保守上有利な場合がある。

イ. 運用コストを増やすだけの可能性がある。

ウ. 技術の新しさだけで選定すべきではない。

エ. 実運用では重要な制約である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『より複雑なモデルに替える必然性がなければ、運用コストも含めて単純モデルを有力候補とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『精度が同じでもモデルサイズを最大化する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『深層学習が最新なので必ず置き換える。』である。

エ： この説明は別の論点『説明性や推論時間はモデル選択に含めない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『深層学習が最新なので必ず置き換える。』である。技術の新しさだけで選定すべきではない。 正しい理解の背景は次のとおりである。モデル選定は精度だけでなく速度・コスト・説明性・保守性も含む。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0104 分析・モデル開発 > モデル選択・学習 ｜ 難易度：標準

「Precision・Recall等の目的に合う指標を確認し、必要に応じてクラス重みや再サンプリングも検討する。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 多数派予測だけでも高くなる可能性がある。

イ. 検出対象そのものを失う。

ウ. 不均衡問題ではAccuracyだけで判断せず、見逃し・誤検知コストを反映した評価が必要である。

エ. 業務目的を達成できない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『Accuracyだけが高ければモデルは十分と結論する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『少数派データを全て削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『Precision・Recall等の目的に合う指標を確認し、必要に応じてクラス重みや再サンプリングも検討する。』である。

エ： この説明は別の論点『訓練・評価を行わず多数派を常に予測する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『Precision・Recall等の目的に合う指標を確認し、必要に応じてクラス重みや再サンプリングも検討する。』である。不均衡問題ではAccuracyだけで判断せず、見逃し・誤検知コストを反映した評価が必要である。 背景となる論点は次のとおりである。データ分布と事業コストに合わせて評価指標・学習方法を選ぶ。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0105 分析・モデル開発 > モデル選択・学習 ｜ 難易度：標準

研修資料に「時間順序を保ち、過去データで学習して後の期間で評価する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 未来情報が学習に混ざる危険がある。

イ. 将来予測条件を再現しにくい。

ウ. 時系列ではランダム分割により未来情報が混ざることがあるため、時間順評価が重要である。

エ. 評価情報の混入につながる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『全期間を完全にランダムシャッフルして必ず同じ比率で分割する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『評価期間を訓練期間より過去に置く。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『時間順序を保ち、過去データで学習して後の期間で評価する。』である。

エ：この説明は別の論点『評価用データを使って特徴量を事前に作り込む。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『時間順序を保ち、過去データで学習して後の期間で評価する。』である。時系列ではランダム分割により未来情報が混ざることがあるため、時間順評価が重要である。 背景となる論点は次のとおりである。分割方法は実際の予測時点と情報利用可能性を模倣する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0106 分析・モデル開発 > モデル選択・学習 ｜ 難易度：標準

ある受験者が「正則化はデータのラベルを自動修正するために使う。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 強すぎる正則化は未学習を招く。

イ. 最適強度はデータやモデルに依存する。

ウ. ラベル修正ではない。

エ. 正則化は過度な複雑化を抑え、過学習の軽減を狙う。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『正則化を強くすれば必ず訓練誤差もテスト誤差も0になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『正則化の強さは常に最大が最適である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『正則化はデータのラベルを自動修正するために使う。』である。

エ：この説明は別の論点『訓練データへの適合とモデル複雑度のバランスを調整し、汎化性能を高める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『正則化はデータのラベルを自動修正するために使う。』である。ラベル修正ではない。 正しい理解の背景は次のとおりである。正則化パラメータは検証データや交差検証で調整する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0107 分析・モデル開発 > モデル選択・学習 ｜ 難易度：標準

AI関連の資料レビューで「訓練損失が最初の1回下がった時点で必ず停止する。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 検証指標を監視することで訓練損失だけが下がり続ける過学習を抑える。

イ. テストを調整に使うと独立評価でなくなる。

ウ. 早すぎる停止になり得る。

エ. GPU使用率は汎化性能の停止条件ではない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『訓練に直接使っていない検証データ上の指標の改善が止まったかを見る。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『テストデータを毎epoch確認し最良epochを選ぶ。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『訓練損失が最初の1回下がった時点で必ず停止する。』である。

エ： この説明は別の論点『GPU使用率だけを見て停止する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『訓練損失が最初の1回下がった時点で必ず停止する。』である。早すぎる停止になり得る。 正しい理解の背景は次のとおりである。停止基準は検証指標に基づける。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0108 分析・モデル開発 > モデル選択・学習 ｜ 難易度：標準

次の主張「精度や頑健性が向上する場合がある一方、推論時間・メモリ・運用複雑性が増えることも評価する。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 通常は計算や管理対象が増える。

イ. 相関した誤りがある場合は改善しないこともある。

ウ. アンサンブルは性能向上の可能性と本番コストのトレードオフを持つ。

エ. 評価は依然必要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『複数モデルを使えば必ず推論コストは小さくなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『全モデルが同じ誤りをしても必ず修正できる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『精度や頑健性が向上する場合がある一方、推論時間・メモリ・運用複雑性が増えることも評価する。』である。

エ： この説明は別の論点『アンサンブルでは評価データは不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『精度や頑健性が向上する場合がある一方、推論時間・メモリ・運用複雑性が増えることも評価する。』である。アンサンブルは性能向上の可能性と本番コストのトレードオフを持つ。 背景となる論点は次のとおりである。精度だけでなくレイテンシ・費用・保守性も含めて判断する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0109 分析・モデル開発 > モデル選択・学習 ｜ 難易度：応用

学習者が「毎回異なる設定にし何を変えたか記録しない。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 選択バイアスが大きくなる。

イ. 単一実行の偶然に依存せず、条件を記録し複数実行で頑健性を確認する。

ウ. 比較不能になる。

エ. seedはリーケージを正当化しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『最も良かった1回の結果だけを選び他の実行は捨てる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『乱数seedやデータ分割を記録し、必要に応じて複数seedで実行して性能のばらつきも比較する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『毎回異なる設定にし何を変えたか記録しない。』である。

エ： この説明は別の論点『seedを変えればテストデータを学習に使ってよい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象となる誤った主張は『毎回異なる設定にし何を変えたか記録しない。』である。比較不能になる。 正しい理解の背景は次のとおりである。確率的要素を含む実験では条件とばらつきを追跡する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0110 分析・モデル開発 > モデル選択・学習 ｜ 難易度：応用

実務上の判断で「精度差だけで決めず、100msのSLA、説明性、運用コストを満たす候補を総合評価する。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 必須レイテンシ要件を満たさない。

イ. 単一指標だけでは不十分である。

ウ. 本番要件を満たさないモデルは、オフライン精度が高くても不適切な場合がある。

エ. 説明性が要件になる場合もある。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『精度が少しでも高いAを必ず採用する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『推論時間だけで決め精度や業務影響は見ない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『精度差だけで決めず、100msのSLA、説明性、運用コストを満たす候補を総合評価する。』である。

エ： この説明は別の論点『説明性が高いモデルは自動的に除外する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『精度差だけで決めず、100msのSLA、説明性、運用コストを満たす候補を総合評価する。』である。本番要件を満たさないモデルは、オフライン精度が高くても不適切な場合がある。 背景となる論点は次のとおりである。モデル選定は事業KPIと技術・リスク・運用制約の同時最適化として扱う。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0111 分析・モデル開発 > 実験・評価・再現性 ｜ 難易度：基礎

教材の草案に「担当者の記憶だけに依存する。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 再現にはモデルだけでなく、データ・コード・依存関係・設定・乱数条件が必要になる。

イ. 結果だけでは同じ条件を再現できない。

ウ. 人の記憶は追跡可能な記録の代替にならない。

エ. 名称だけ同じでも条件は再現できない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『コード版、データ版、パラメータ、乱数seed、実行環境、評価結果などを対応付けて保存する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『最終Accuracyだけをメモし、コードやデータは保存しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『担当者の記憶だけに依存する。』である。

エ：この説明は別の論点『モデル名だけを毎回同じにする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象となる誤った主張は『担当者の記憶だけに依存する。』である。人の記憶は追跡可能な記録の代替にならない。 正しい理解の背景は次のとおりである。実験管理ではrunごとの入力条件と出力成果物を紐付けて追跡する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0112 分析・モデル開発 > 実験・評価・再現性 ｜ 難易度：基礎

「検証foldの統計量が学習側へ漏れる可能性があるため、各foldの訓練部分だけで前処理をfitする。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 目的変数を使わなくても検証データ分布の情報が漏れる。

イ. 評価の過大推定につながる可能性がある。

ウ. 前処理も学習工程の一部であり、検証情報を使わないよう分割内でfitする必要がある。

エ. 評価設計は依然必要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：この説明は別の論点『標準化は教師なし処理なのでリーケージは絶対に起こらない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『全データで標準化すれば必ず本番性能が上がる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『検証foldの統計量が学習側へ漏れる可能性があるため、各foldの訓練部分だけで前処理をfitする。』である。

エ：この説明は別の論点『標準化をやめれば交差検証自体も不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説：対象の主張は『検証foldの統計量が学習側へ漏れる可能性があるため、各foldの訓練部分だけで前処理をfitする。』である。前処理も学習工程の一部であり、検証情報を使わないよう分割内でfitする必要がある。 背景となる論点は次のとおりである。変換器・特徴量生成器を訓練foldに限定して学習するのが基本である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0113 分析・モデル開発 > 実験・評価・再現性 ｜ 難易度：基礎

研修資料に「テストセットに間接的に最適化され、最終性能の独立な推定値として使えなくなる。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 独立性が失われる可能性が高い。

イ. テストは調整用データではない。

ウ. テスト結果を何度も意思決定に使うと、テスト自体へ過適合する。

エ. 実際には開発判断へ影響する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア： この説明は別の論点『テストを頻繁に見るほど必ず汎化性能が向上する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『テストセットは訓練データより多く使うほどよい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『テストセットに間接的に最適化され、最終性能の独立な推定値として使えなくなる。』である。

エ： この説明は別の論点『テスト結果を見ても特徴量選択には一切影響しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

総合解説： 対象の主張は『テストセットに間接的に最適化され、最終性能の独立な推定値として使えなくなる。』である。テスト結果を何度も意思決定に使うと、テスト自体へ過適合する。 背景となる論点は次のとおりである。開発・選択には検証データを使い、テストは最終確認に温存する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0114 分析・モデル開発 > 実験・評価・再現性 ｜ 難易度：標準

ある受験者が「同じ訓練データをテストにも使って差を拡大する。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 偶然の分割に左右される。

イ. 不確実性評価の問題は解消しない。

ウ. 小さい性能差は標本変動の範囲かもしれないため、単一分割の一点推定だけで断定しない。

エ. 汎化性能推定にならない。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『1回だけ最も良かったモデルを必ず勝者とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『差が小さい場合は評価データを削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『複数分割や信頼区間などで評価のばらつきを確認し、差が安定しているか検討する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『同じ訓練データをテストにも使って差を拡大する。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『同じ訓練データをテストにも使って差を拡大する。』である。汎化性能推定にならない。 正しい理解の背景は次のとおりである。性能差の大きさだけでなく、評価の不確実性と実務上の意味を確認する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0115 分析・モデル開発 > 実験・評価・再現性 ｜ 難易度：標準

AI関連の資料レビューで「ハードウェア障害を完全に防止する。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 実験条件と結果を体系的に記録することで比較、再現、監査が容易になる。

イ. 実験追跡の目的ではない。

ウ. 記録を助けるが品質を自動保証しない。

エ. 追跡機能は障害を完全には防げない。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『各runのパラメータ、メトリクス、コード版、モデルなどを紐付けて比較・再現しやすくする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『テストデータの正解を自動的に訓練へ混ぜる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『モデルの公平性や安全性を無条件に保証する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『ハードウェア障害を完全に防止する。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『ハードウェア障害を完全に防止する。』である。追跡機能は障害を完全には防げない。 正しい理解の背景は次のとおりである。再現性はツール導入だけでなく、何を記録しどの版を正本とするかの運用設計も重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0116 分析・モデル開発 > 実験・評価・再現性 ｜ 難易度：標準

次の主張「学習に使ったデータの版や取得条件を固定・記録し、コードやモデルと紐付ける。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. データ差分は解消しない。

イ. 過去実験の再現性が失われる。

ウ. 原因がデータ変更なら対策にならない。

エ. データも実験入力の一部なので、バージョンを追跡しなければ再現できない。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『モデルファイル名だけ同じにする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『データ更新履歴を削除して最新だけ残す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『結果が変わったら毎回seedだけ変更する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『学習に使ったデータの版や取得条件を固定・記録し、コードやモデルと紐付ける。』である。

総合解説： 対象の主張は『学習に使ったデータの版や取得条件を固定・記録し、コードやモデルと紐付ける。』である。データも実験入力の一部なので、バージョンを追跡しなければ再現できない。 背景となる論点は次のとおりである。再現性にはデータ、コード、環境、設定のバージョン管理が必要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0117 分析・モデル開発 > 実験・評価・再現性 ｜ 難易度：標準

学習者が「seedはモデルの精度を必ず最大化する値である。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. リーケージは別の設計問題である。

イ. 非決定性が残る場合がある。

ウ. seed固定は実験再現に役立つ一方、性能比較ではseed依存性も確認することがある。

エ. 最大精度を保証するものではない。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『seedを固定すればデータリーケージが自動的に無くなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『seedを固定すれば全てのGPU処理が必ずビット単位で同一になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『同じ条件で結果を再現しやすくするが、モデルの真の性能がそのseedだけで決まるわけではない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『seedはモデルの精度を必ず最大化する値である。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『seedはモデルの精度を必ず最大化する値である。』である。最大精度を保証するものではない。 正しい理解の背景は次のとおりである。乱数条件を記録しつつ、必要なら複数seedで頑健性も確認する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0118 分析・モデル開発 > 実験・評価・再現性 ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「安全な範囲でA/Bテスト等を行い、事業KPIへの実際の影響を測る。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 代理指標と事業KPIは一致しないことがある。

イ. ユーザー影響を直接評価できない。

ウ. 効果を評価しにくくリスクも高い。

エ. オフライン指標の改善が必ずユーザー行動や事業成果に直結するとは限らない。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『オフラインAccuracyだけで購入率も必ず上がると結論する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『本番効果を測らず学習損失だけで採否を決める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『全ユーザーへ一斉導入し比較対象を作らない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『安全な範囲でA/Bテスト等を行い、事業KPIへの実際の影響を測る。』である。

総合解説： 対象の主張は『安全な範囲でA/Bテスト等を行い、事業KPIへの実際の影響を測る。』である。オフライン指標の改善が必ずユーザー行動や事業成果に直結するとは限らない。 背景となる論点は次のとおりである。本番評価では業務KPI、安全性、ユーザー体験を含めた検証が重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0119 分析・モデル開発 > 実験・評価・再現性 ｜ 難易度：応用

教材の草案に「テストデータに学習済み例を追加して精度を上げる。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 評価条件が異なると性能差がモデル差なのかデータ差なのか判別できない。

イ. 公正な比較にならない。

ウ. 選択バイアスが生じる。

エ. 独立評価を壊す。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『原則として同じ評価条件・同じ評価データ・同じ指標で比較し、変更点を明確にする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『モデルごとに有利な評価データを選ぶ。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『評価指標も毎回変更し最も高く見えるものだけ採用する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『テストデータに学習済み例を追加して精度を上げる。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『テストデータに学習済み例を追加して精度を上げる。』である。独立評価を壊す。 正しい理解の背景は次のとおりである。比較実験では一度に変える要因と評価条件を管理して因果を切り分ける。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0120 分析・モデル開発 > 実験・評価・再現性 ｜ 難易度：応用

「ライブラリ・ドライバ・ハードウェア・決定性設定を記録し、許容範囲の性能再現性を確認する。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 原因と実務影響を評価する方が適切である。

イ. 依存ライブラリやハードウェア差が影響し得る。

ウ. 完全同一が難しくても管理は重要である。

エ. 並列計算等による非決定性があり得るため、環境情報と再現性の許容基準を明確にする。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『小さな差が出たら実験記録を全て破棄する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『seedが同じなら環境差は一切記録しなくてよい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『再現性は不可能なので版管理も不要である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『ライブラリ・ドライバ・ハードウェア・決定性設定を記録し、許容範囲の性能再現性を確認する。』である。

総合解説： 対象の主張は『ライブラリ・ドライバ・ハードウェア・決定性設定を記録し、許容範囲の性能再現性を確認する。』である。並列計算等による非決定性があり得るため、環境情報と再現性の許容基準を明確にする。 背景となる論点は次のとおりである。再現性は条件記録・環境固定・統計的再現確認を組み合わせる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0121 実装・運用 > モデルの実装・デプロイ・推論 ｜ 難易度：基礎

研修資料に「即時応答が必要ならオンライン推論、一定間隔でまとめて処理できるならバッチ推論が候補になる。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. それはオンライン推論に近い。

イ. 入力を受けてリアルタイムに予測する。

ウ. 要件で適切な方式は変わる。

エ. 推論方式は要求レイテンシ、データ鮮度、処理量、コストで選ぶ。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『バッチ推論は1件ずつ必ずミリ秒以内に応答する方式である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『オンライン推論では本番データを受け取れない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『推論方式は事業要件に関係なく常に同じものを選ぶ。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『即時応答が必要ならオンライン推論、一定間隔でまとめて処理できるならバッチ推論が候補になる。』である。

総合解説： 対象の主張は『即時応答が必要ならオンライン推論、一定間隔でまとめて処理できるならバッチ推論が候補になる。』である。推論方式は要求レイテンシ、データ鮮度、処理量、コストで選ぶ。 背景となる論点は次のとおりである。処理方式は鮮度と運用コストのトレードオフを考える。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0122 実装・運用 > モデルの実装・デプロイ・推論 ｜ 難易度：基礎

ある受験者が「符号化方法が違ってもモデル入力の意味は必ず同一になる。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 学習時と同じ変換が必要である。

イ. 未知カテゴリ等で品質低下が起こり得る。

ウ. 学習と推論で特徴量処理がずれるtraining-serving skewは本番性能低下の原因になる。

エ. 対応関係が変われば意味も変わり得る。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『本番では前処理は不要なので問題にならない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『カテゴリ数が多ければ自動的に精度が上がる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『同じ入力でも学習時と異なる特徴表現になり、予測品質が低下する可能性がある。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『符号化方法が違ってもモデル入力の意味は必ず同一になる。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『符号化方法が違ってもモデル入力の意味は必ず同一になる。』である。対応関係が変われば意味も変わり得る。 正しい理解の背景は次のとおりである。前処理コードやスキーマは学習・本番で共有または厳密に同期させる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0123 実装・運用 > モデルの実装・デプロイ・推論 ｜ 難易度：基礎

AI関連の資料レビューで「下流システムはモデル変更に自動適応すると仮定する。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 予測値は他システムから利用されるため、インターフェース変更も管理する必要がある。

イ. 互換性がさらに悪化する。

ウ. 明確な契約がないと障害が起きやすい。

エ. 暗黙の依存は障害の原因になる。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『APIや出力スキーマをバージョン管理し、依存システムとの互換性を確認して段階的に変更する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『出力項目を毎回ランダムに並べ替える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『予測APIではスキーマを定義しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『下流システムはモデル変更に自動適応すると仮定する。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『下流システムはモデル変更に自動適応すると仮定する。』である。暗黙の依存は障害の原因になる。 正しい理解の背景は次のとおりである。MLシステムでもAPI契約、スキーマ、依存関係の管理が重要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0124 実装・運用 > モデルの実装・デプロイ・推論 ｜ 難易度：標準

次の主張「影響範囲を限定しながら、本番指標や障害を確認して段階的に拡大できる。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 段階投入でも監視は必要である。

イ. 旧版を残すことが多い。

ウ. 配信方式自体はモデルを改善しない。

エ. 全面展開前に実環境で問題を検知し、リスクを限定できる。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『少数ユーザーに出せば評価や監視が不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『カナリアリリースでは旧モデルを必ず削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『新モデルの性能が悪くても自動的に改善される。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『影響範囲を限定しながら、本番指標や障害を確認して段階的に拡大できる。』である。

総合解説： 対象の主張は『影響範囲を限定しながら、本番指標や障害を確認して段階的に拡大できる。』である。全面展開前に実環境で問題を検知し、リスクを限定できる。 背景となる論点は次のとおりである。本番変更は段階的に行い、停止・ロールバック条件を事前に決める。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0125 実装・運用 > モデルの実装・デプロイ・推論 ｜ 難易度：標準

学習者が「旧モデルを削除して保存領域を必ず空にするため。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 復旧手段でありデータ増量ではない。

イ. 本番では予期しない問題が起こり得るため、復旧経路を事前に用意する。

ウ. 監視は必要である。

エ. ロールバックには旧版が必要になる場合がある。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『新モデルの学習データを増やすため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『本番で重大な性能低下や障害が起きたとき、安定していた旧版へ迅速に戻せるようにするため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『監視を行わずに済むようにするため。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『旧モデルを削除して保存領域を必ず空にするため。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『旧モデルを削除して保存領域を必ず空にするため。』である。ロールバックには旧版が必要になる場合がある。 正しい理解の背景は次のとおりである。モデル・設定・前処理・依存環境まで含めて復旧可能な版管理を行う。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0126 実装・運用 > モデルの実装・デプロイ・推論 ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「実装差によって同名特徴量の値がずれ、training-serving skewが生じること。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 速度改善は保証されない。

イ. ドリフトとは別問題である。

ウ. むしろ管理が重要になる。

エ. 特徴量定義が二重管理されると、修正漏れや計算差が生じやすい。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『別実装にすれば必ず推論速度が上がる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『別実装にするとデータ分布の変化が自動的に消える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『別実装ならモデルの版管理が不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『実装差によって同名特徴量の値がずれ、training-serving skewが生じること。』である。

総合解説： 対象の主張は『実装差によって同名特徴量の値がずれ、training-serving skewが生じること。』である。特徴量定義が二重管理されると、修正漏れや計算差が生じやすい。 背景となる論点は次のとおりである。共通変換コードや共通仕様、検証テストで学習・本番の整合を保つ。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0127 実装・運用 > モデルの実装・デプロイ・推論 ｜ 難易度：標準

教材の草案に「レイテンシとスループットは常に同じ数値になる。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 両者は異なる性能指標で、用途に応じて個別に要件を設定する。

イ. 予測精度ではない。

ウ. それはレイテンシである。

エ. 単位も意味も異なる。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『レイテンシは1件の応答に要する時間、スループットは単位時間に処理できる件数を表す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『レイテンシはモデルのAccuracyだけを表す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『スループットは1件の応答時間だけを表す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『レイテンシとスループットは常に同じ数値になる。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『レイテンシとスループットは常に同じ数値になる。』である。単位も意味も異なる。 正しい理解の背景は次のとおりである。本番設計では平均だけでなく高パーセンタイルのレイテンシ等も確認する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0128 実装・運用 > モデルの実装・デプロイ・推論 ｜ 難易度：標準

「モデル形式、ライブラリ・ランタイムの版、必要な演算子やハードウェア依存性が一致しているか確認する。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. サービスできない。

イ. 実行可否や出力に影響する。

ウ. 環境問題はデータ量では解決しない。

エ. モデルはコード・ライブラリ・ランタイム等に依存するため環境互換性の管理が必要である。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『本番でエラーが出てもモデル精度が高ければそのまま公開する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『環境差はMLシステムには影響しないと仮定する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『学習データを増やせばライブラリエラーが解消する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『モデル形式、ライブラリ・ランタイムの版、必要な演算子やハードウェア依存性が一致しているか確認する。』である。

総合解説： 対象の主張は『モデル形式、ライブラリ・ランタイムの版、必要な演算子やハードウェア依存性が一致しているか確認する。』である。モデルはコード・ライブラリ・ランタイム等に依存するため環境互換性の管理が必要である。 背景となる論点は次のとおりである。モデル成果物と実行環境をセットでバージョン管理・テストする。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0129 実装・運用 > モデルの実装・デプロイ・推論 ｜ 難易度：応用

研修資料に「リスク許容度に応じ、旧モデル・ルールベース・人手確認などのフォールバック経路と停止条件を事前に定義する。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 高リスク取引を見逃す可能性がある。

イ. 事前設計がないと復旧が遅れる。

ウ. 例外時こそ記録が重要である。

エ. AI障害時にどう業務を継続・縮退するかはシステム設計の一部である。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『AIが停止したら全取引を無条件に承認する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『障害時の手順は本番障害が起きてから考える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『AIの予測がない場合も監査ログは不要とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『リスク許容度に応じ、旧モデル・ルールベース・人手確認などのフォールバック経路と停止条件を事前に定義する。』である。

総合解説： 対象の主張は『リスク許容度に応じ、旧モデル・ルールベース・人手確認などのフォールバック経路と停止条件を事前に定義する。』である。AI障害時にどう業務を継続・縮退するかはシステム設計の一部である。 背景となる論点は次のとおりである。高影響システムではフェイルセーフ、縮退運転、手動切替、監査性を含める。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0130 実装・運用 > モデルの実装・デプロイ・推論 ｜ 難易度：応用

ある受験者が「全ての入力を無検証で内部システムへ渡す。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. AIサービスでもアクセス制御は必要である。

イ. 監視・追跡ができなくなる。

ウ. モデルAPIも通常の情報システムと同様にアクセス制御や入力検証が必要である。

エ. 不正入力や障害のリスクが高い。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『モデルがAIなので認証は不要とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『ログを一切残さず不正アクセスを検知しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『認証・認可、入力検証、レート制限、ログ監視などを設け、想定外入力や不正利用への対策を行う。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『全ての入力を無検証で内部システムへ渡す。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『全ての入力を無検証で内部システムへ渡す。』である。不正入力や障害のリスクが高い。 正しい理解の背景は次のとおりである。AI固有リスクに加え、API・データ・インフラの一般的なセキュリティ管理も必要である。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0131 実装・運用 > 性能監視・データ変化・再学習 ｜ 難易度：基礎

AI関連の資料レビューで「モデルファイルの圧縮だけを指す。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 本番入力の統計的性質が学習時と変わることをデータドリフトと呼ぶ。

イ. 入力分布の変化もデータドリフトに含まれる。

ウ. ハードウェア障害とは別概念である。

エ. 圧縮とは別概念である。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『データドリフト（入力分布の変化）である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『必ずラベルの定義が変わる現象だけを指す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『GPU故障だけを指す。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『モデルファイルの圧縮だけを指す。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『モデルファイルの圧縮だけを指す。』である。圧縮とは別概念である。 正しい理解の背景は次のとおりである。ドリフトは性能低下の兆候になり得るため、特徴量分布等を監視する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0132 実装・運用 > 性能監視・データ変化・再学習 ｜ 難易度：基礎

次の主張「概念ドリフトの可能性があり、入力から目的変数への関係そのものが変化している。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 関係変化があるなら性能に影響し得る。

イ. 軽量化とは別概念である。

ウ. 性能低下の原因になり得る。

エ. 概念ドリフトでは予測対象を生む仕組みが変わり、以前の決定境界が適さなくなることがある。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『入力データのファイル名が変わっただけなので性能とは無関係である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『モデルサイズが小さくなったことだけを意味する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『概念ドリフトが起きるとAccuracyは必ず100%になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『概念ドリフトの可能性があり、入力から目的変数への関係そのものが変化している。』である。

総合解説： 対象の主張は『概念ドリフトの可能性があり、入力から目的変数への関係そのものが変化している。』である。概念ドリフトでは予測対象を生む仕組みが変わり、以前の決定境界が適さなくなることがある。 背景となる論点は次のとおりである。入力分布の変化と、入力と目的の関係変化を区別して監視する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0133 実装・運用 > 性能監視・データ変化・再学習 ｜ 難易度：基礎

学習者が「予測スコア分布だけで最終Accuracyも必ず分かる。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 異常検知が遅れる。

イ. ラベルが遅い場合は代理指標を監視しつつ、最終的な教師付き性能評価を後追いで行う。

ウ. 誤った性能評価になる。

エ. 代理指標だけでは真の性能を確定できない。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『ラベルが遅いので性能監視を一切行わない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『入力分布、予測スコア、エラー率などの即時監視を行い、ラベル確定後に真の性能指標も追跡する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『ラベル確定前に全予測を正解として扱う。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『予測スコア分布だけで最終Accuracyも必ず分かる。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『予測スコア分布だけで最終Accuracyも必ず分かる。』である。代理指標だけでは真の性能を確定できない。 正しい理解の背景は次のとおりである。早期シグナルと遅延ラベルによる性能評価を組み合わせる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0134 実装・運用 > 性能監視・データ変化・再学習 ｜ 難易度：標準

実務上の判断で「training-serving skewが発生しており、学習と本番の特徴量生成を一致させる必要がある。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 実装差が直接確認されている。

イ. 不整合は品質低下を招く。

ウ. 同じ意味の入力を保つことが重要である。

エ. 学習・本番パイプラインの不一致は代表的なtraining-serving skewである。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『これは必ず概念ドリフトだけが原因である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『本番の計算式を毎回変えるほど汎化性能は高くなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『学習時と本番時の特徴量は一致させない方がよい。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『training-serving skewが発生しており、学習と本番の特徴量生成を一致させる必要がある。』である。

総合解説： 対象の主張は『training-serving skewが発生しており、学習と本番の特徴量生成を一致させる必要がある。』である。学習・本番パイプラインの不一致は代表的なtraining-serving skewである。 背景となる論点は次のとおりである。学習時と推論時のデータ処理差を明示的に監視する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0135 実装・運用 > 性能監視・データ変化・再学習 ｜ 難易度：標準

教材の草案に「一度デプロイしたモデルは永遠に再学習不要である。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. 定期更新が有効な場合もあるが、再学習の必要性はデータ・性能・業務条件で変わる。

イ. 新データ品質や分布次第で悪化することもある。

ウ. 問題を解決しない場合がある。

エ. 環境やデータは変化し得る。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『時間間隔だけでなく、性能劣化、データ分布変化、業務変更、ラベル蓄積などを踏まえてトリガーを設計する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『毎日必ず再学習すれば性能は必ず改善する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『性能が悪化しても原因分析せず同じデータだけで再学習する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『一度デプロイしたモデルは永遠に再学習不要である。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『一度デプロイしたモデルは永遠に再学習不要である。』である。環境やデータは変化し得る。 正しい理解の背景は次のとおりである。再学習を自動化する場合でも評価ゲートやロールバック条件を設ける。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0136 実装・運用 > 性能監視・データ変化・再学習 ｜ 難易度：標準

「モデルの出力が将来データ分布を変えるフィードバックループが生じ、偏りが強化される可能性がある。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 推薦等ではユーザー行動へ影響する。

イ. 継続的な評価が重要である。

ウ. 偏りの増幅は代表的なリスクである。

エ. 推薦→閲覧→学習という循環で、露出された項目のデータがさらに増えるなどの偏りが起こり得る。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『モデル出力は現実のデータに一切影響しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『フィードバックループがあるほど評価データは不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『出力がデータを変えても偏りは原理的に起こらない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『モデルの出力が将来データ分布を変えるフィードバックループが生じ、偏りが強化される可能性がある。』である。

総合解説： 対象の主張は『モデルの出力が将来データ分布を変えるフィードバックループが生じ、偏りが強化される可能性がある。』である。推薦→閲覧→学習という循環で、露出された項目のデータがさらに増えるなどの偏りが起こり得る。 背景となる論点は次のとおりである。本番AIは環境へ作用するため、システム全体の循環を監視する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0137 実装・運用 > 性能監視・データ変化・再学習 ｜ 難易度：標準

研修資料に「データパイプラインや取得元の異常を確認し、欠損率と予測影響を監視して必要なら安全策を取る。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 入力品質劣化を見逃す。

イ. 不適切な補完になる可能性がある。

ウ. 本番こそ重要である。

エ. 欠損率の急変はデータ品質異常や上流変更の兆候であり原因確認が必要である。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『モデルAccuracyを見ず欠損率の変化も無視する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『欠損を全てランダム値にして原因調査をしない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『スキーマ監視は学習時だけ必要で本番では不要である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『データパイプラインや取得元の異常を確認し、欠損率と予測影響を監視して必要なら安全策を取る。』である。

総合解説： 対象の主張は『データパイプラインや取得元の異常を確認し、欠損率と予測影響を監視して必要なら安全策を取る。』である。欠損率の急変はデータ品質異常や上流変更の兆候であり原因確認が必要である。 背景となる論点は次のとおりである。本番ではスキーマ、範囲、欠損、カテゴリ値、分布などを継続監視する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0138 実装・運用 > 性能監視・データ変化・再学習 ｜ 難易度：標準

ある受験者が「季節性があればモデル評価は不要である。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 正常な季節変化の可能性もある。

イ. 原因分析が不足している。

ウ. 分布変化が全て異常とは限らず、周期的変化か新規ドリフトかを区別する必要がある。

エ. 季節別の性能確認が重要である。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『分布が変わった時点で必ずモデルを永続的に廃止する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『過去データは見ず、その日だけで必ず概念ドリフトと断定する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『季節性の可能性を検討し、過去の同時期との比較や時期別性能を確認した上で対策を決める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『季節性があればモデル評価は不要である。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『季節性があればモデル評価は不要である。』である。季節別の性能確認が重要である。 正しい理解の背景は次のとおりである。監視アラートは背景変動を踏まえて誤検知と見逃しを減らす。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0139 実装・運用 > 性能監視・データ変化・再学習 ｜ 難易度：応用

AI関連の資料レビューで「再学習後の評価を行わず自動的に本番切替する。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. 新しさだけに偏ると、長期的に重要なパターンを失う可能性がある。

イ. 重要な長期パターンを失う可能性がある。

ウ. 重大リスクなら少数でも重要である。

エ. 性能劣化を検出できない。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『新しいデータを取り込みつつ、重要な希少事例や代表性を維持する学習データ設計を検討する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『最新データ以外は必ず全て捨てる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『希少事例は少ないので評価対象からも完全に除外する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『再学習後の評価を行わず自動的に本番切替する。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『再学習後の評価を行わず自動的に本番切替する。』である。性能劣化を検出できない。 正しい理解の背景は次のとおりである。再学習では鮮度と代表性、重要リスク事例の保持をバランスさせる。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0140 実装・運用 > 性能監視・データ変化・再学習 ｜ 難易度：応用

次の主張「現行モデルと新候補を同じ基準で比較し、採用条件・ロールバック条件・旧版の廃止手順を定義する。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 回帰や障害時に戻せない。

イ. 公正な比較ができない。

ウ. 追跡・復旧・監査が困難になる。

エ. モデル更新は性能比較だけでなく、切替・復旧・廃止まで含むライフサイクル管理が必要である。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『新モデルができたら評価なしで即座に旧モデルを削除する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『現行モデルと候補モデルで別々の評価基準を使う。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『本番投入後は旧版や変更履歴を一切記録しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『現行モデルと新候補を同じ基準で比較し、採用条件・ロールバック条件・旧版の廃止手順を定義する。』である。

総合解説： 対象の主張は『現行モデルと新候補を同じ基準で比較し、採用条件・ロールバック条件・旧版の廃止手順を定義する。』である。モデル更新は性能比較だけでなく、切替・復旧・廃止まで含むライフサイクル管理が必要である。 背景となる論点は次のとおりである。継続評価、版管理、切替、ロールバック、廃止を一体で管理する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0141 実装・運用 > 人間とAIの役割分担・運用上の判断 ｜ 難易度：基礎

学習者が「異常時の担当を決めずその場で判断する。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 組織上の責任はAIへ移転できない。

イ. 責任分界が曖昧になり得る。

ウ. 人間の役割・責任・権限を明確にしなければ監督が形骸化しやすい。

エ. 高影響業務では事前設計が重要である。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『AIがあるので人間の責任者は不要とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『全ての人が同じ権限を持つことにする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『誰がAI出力を確認し、誰が最終判断し、誰が異常時に対応するかを明確にする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『異常時の担当を決めずその場で判断する。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『異常時の担当を決めずその場で判断する。』である。高影響業務では事前設計が重要である。 正しい理解の背景は次のとおりである。人間の監督は役割、権限、教育、エスカレーション手順まで具体化する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0142 実装・運用 > 人間とAIの役割分担・運用上の判断 ｜ 難易度：基礎

実務上の判断で「AIの限界や不確実性を教育し、必要に応じて根拠確認・二重確認・異議申立てを行える運用にする。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 誤りを修正できなくなる。

イ. 高影響判断では危険である。

ウ. 適切な監督判断が難しくなる。

エ. 自動化バイアスを抑えるにはAIを補助として批判的に扱える仕組みが必要である。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『AIの出力を人間が疑うことを禁止する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『AIの信頼度に関係なく全て自動承認する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『人間にAIの限界を知らせない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『AIの限界や不確実性を教育し、必要に応じて根拠確認・二重確認・異議申立てを行える運用にする。』である。

総合解説： 対象の主張は『AIの限界や不確実性を教育し、必要に応じて根拠確認・二重確認・異議申立てを行える運用にする。』である。自動化バイアスを抑えるにはAIを補助として批判的に扱える仕組みが必要である。 背景となる論点は次のとおりである。人間がAIを盲信も過小評価もせず適切に利用できるよう設計する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0143 実装・運用 > 人間とAIの役割分担・運用上の判断 ｜ 難易度：基礎

教材の草案に「担当者に専門知識がなくても監督品質は必ず同じである。」とある。内容を訂正する際に示す説明として最も適切なものはどれか。

ア. HITLは人間が実際に介入できる能力と権限があって初めて機能する。

イ. 実際に確認できなければ形骸化する。

ウ. 人的能力には限界がある。

エ. 役割に応じた能力が必要である。

答え・解説 **正答：エ**

ア：この説明は別の論点『形式上人間を置くだけでは十分でなく、処理量・専門性・権限を考慮して実効的な監督方式を再設計する必要がある。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『人間という役職名があるだけで監督は十分である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『AI処理量が多いほど人間の確認時間も自動的に増える。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『担当者に専門知識がなくても監督品質は必ず同じである。』である。

総合解説：対象となる誤った主張は『担当者に専門知識がなくても監督品質は必ず同じである。』である。役割に応じた能力が必要である。 正しい理解の背景は次のとおりである。全件確認、抽出監査、閾値超過時介入などをリスクに応じて設計する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0144 実装・運用 > 人間とAIの役割分担・運用上の判断 ｜ 難易度：標準

「AIスコアを一つの情報として扱い、担当者が規程・追加情報・例外事情も確認して最終判断する。」という説明を正しいと判断する際、最も適切な根拠はどれか。

ア. 規程と実際の運用が矛盾する。

イ. 補助情報としての役割に反する。

ウ. 組織の判断基準は残る。

エ. 意思決定支援ではAI出力と人間の業務判断の役割を明確に分ける。

答え・解説 **正答：エ**

ア：この説明は別の論点『AIスコアを理由説明なしで常に最終決定とする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ：この説明は別の論点『担当者はAI出力を見たら他の情報を確認してはいけない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ：この説明は別の論点『AIがあるので審査基準を廃止する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ：対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『AIスコアを一つの情報として扱い、担当者が規程・追加情報・例外事情も確認して最終判断する。』である。

総合解説：対象の主張は『AIスコアを一つの情報として扱い、担当者が規程・追加情報・例外事情も確認して最終判断する。』である。意思決定支援ではAI出力と人間の業務判断の役割を明確に分ける。 背景となる論点は次のとおりである。AI利用では人間判断との関係、例外処理、記録方法を定義する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0145 実装・運用 > 人間とAIの役割分担・運用上の判断 ｜ 難易度：標準

研修資料に「低確信度や想定外入力を検知したら、専門家確認など別の判断経路へエスカレーションする。」と記載されている。この記述を最も直接的に裏付ける説明はどれか。

ア. 不確実性が高いケースでリスクが増える。

イ. 後から異常分析や監査ができない。

ウ. 表示の有無はモデル精度を直接改善しない。

エ. モデルが不確実なケースを自動処理せず、人間や別手段へ回す設計はリスク低減に有効である。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『確信度が低いほど自動決定を強制する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『低確信度でもログを残さず通常扱いする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『確信度を表示しないことでAI精度が自動的に上がる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『低確信度や想定外入力を検知したら、専門家確認など別の判断経路へエスカレーションする。』である。

総合解説： 対象の主張は『低確信度や想定外入力を検知したら、専門家確認など別の判断経路へエスカレーションする。』である。モデルが不確実なケースを自動処理せず、人間や別手段へ回す設計はリスク低減に有効である。 背景となる論点は次のとおりである。閾値は業務リスク、見逃しコスト、処理能力を考えて設計する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0146 実装・運用 > 人間とAIの役割分担・運用上の判断 ｜ 難易度：標準

ある受験者が「人間の上書きは必ず誤りなので全て無視する。」と回答した。この誤りを最も適切に指摘する説明はどれか。

ア. 改善や責任追跡に役立つ。

イ. 自動的な完全性を保証しない。

ウ. オーバーライドの頻度や理由は、人間-AI協働の問題点を把握する重要な運用データになる。

エ. 人間側・AI側のどちらにも誤りの可能性がある。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『上書き理由は監査上不要なので記録しない。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『上書き記録を集めればAIが自動的に完全になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『どの状況でAIと人間の判断が食い違うかを分析し、モデル・UI・運用改善の手掛かりにできる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『人間の上書きは必ず誤りなので全て無視する。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『人間の上書きは必ず誤りなので全て無視する。』である。人間側・AI側のどちらにも誤りの可能性がある。 正しい理解の背景は次のとおりである。AI出力だけでなく、人間の介入と結果も含めて運用品質を評価する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0147 実装・運用 > 人間とAIの役割分担・運用上の判断 ｜ 難易度：標準

AI関連の資料レビューで「AIを使えば組織の説明責任は自動的に消える。」という記述が見つかった。レビューコメントとして最も適切なものはどれか。

ア. AIは責任主体ではないため、組織内の責任分担と説明可能な運用が必要である。

イ. 個別の誤りや影響への対応は必要である。

ウ. AIも誤り得る。

エ. 説明責任が消滅するわけではない。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『不適切であり、AIを利用する組織は役割・責任・監督体制を定め、意思決定について説明できる必要がある。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『モデル精度が高ければ苦情対応は不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『AI出力は常に人間より正しいので責任者は不要である。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『AIを使えば組織の説明責任は自動的に消える。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『AIを使えば組織の説明責任は自動的に消える。』である。説明責任が消滅するわけではない。 正しい理解の背景は次のとおりである。ガバナンスではAIシステムの所有者、運用者、監督者等の責任を明確にする。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0148 実装・運用 > 人間とAIの役割分担・運用上の判断 ｜ 難易度：標準

次の主張「利用者が必要な範囲で確信度や注意事項を理解できる表示にし、過度な確実性を与えない。」について、その理由を最も正確に説明しているものはどれか。

ア. 誤解を招き過信につながる。

イ. 適切な人間判断を妨げる場合がある。

ウ. 表示変更でモデル誤差は消えない。

エ. UIはAI出力の不確実性や適用限界を利用者が判断できるよう設計する必要がある。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『全ての予測を『100%確実』と表示する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『利用者に一切情報を与えずAI内部だけで決める。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『確信度を隠せばモデルそのものの予測誤差がなくなる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『利用者が必要な範囲で確信度や注意事項を理解できる表示にし、過度な確実性を与えない。』である。

総合解説： 対象の主張は『利用者が必要な範囲で確信度や注意事項を理解できる表示にし、過度な確実性を与えない。』である。UIはAI出力の不確実性や適用限界を利用者が判断できるよう設計する必要がある。 背景となる論点は次のとおりである。情報提示は利用者の役割・理解能力・判断リスクに合わせて設計する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0149 実装・運用 > 人間とAIの役割分担・運用上の判断 ｜ 難易度：応用

学習者が「開発者が詳しいので全ての監督機能を一人に集中するほど安全になる。」と理解している。この理解を修正するための説明として最も適切なものはどれか。

ア. 監査可能性がない。

イ. 単一担当者への権限集中は見落としや利益相反のリスクを高める。

ウ. 高リスク用途では安全性とのバランスが必要である。

エ. 独立性や牽制が失われる。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『事故時の記録を残さず開発者の記憶だけで評価する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『リスクに応じて独立レビューや承認権限を設け、開発・運用・監督の役割を分離または相互牽制できるようにする。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『承認手順をなくして更新速度だけを最大化する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の誤った主張がなぜ不適切かを直接説明しているため適切である。対象の主張は『開発者が詳しいので全ての監督機能を一人に集中するほど安全になる。』である。

総合解説： 対象となる誤った主張は『開発者が詳しいので全ての監督機能を一人に集中するほど安全になる。』である。独立性や牽制が失われる。 正しい理解の背景は次のとおりである。組織規模に応じつつ、責任・承認・監督の独立性を確保する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

0150 実装・運用 > 人間とAIの役割分担・運用上の判断 ｜ 難易度：応用

実務上の判断で「誤りの影響、可逆性、頻度、法令・業務要件、AI性能、人間が介入可能かを踏まえて自動化レベルを決める。」という考え方を採用した。その判断根拠として最も適切なものはどれか。

ア. 高影響用途では不適切な場合がある。

イ. 人間監督も万能ではない。

ウ. 過剰な人的負担になる。

エ. 全ての用途で同じ監督形態が最適ではなく、リスクベースで人間-AI構成を設計する。

答え・解説 **正答：エ**

ア： この説明は別の論点『AIである以上、用途に関係なく必ず完全自動化する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

イ： この説明は別の論点『人間確認を置けばAIの安全性評価は一切不要になる。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

ウ： この説明は別の論点『低リスクで反復的な処理でも必ず全件専門家確認を要求する。』に対応するもので、今回示された主張を直接説明するものではない。

エ： 対象の主張に対応する根拠を直接説明しているため適切である。元の主張は『誤りの影響、可逆性、頻度、法令・業務要件、AI性能、人間が介入可能かを踏まえて自動化レベルを決める。』である。

総合解説： 対象の主張は『誤りの影響、可逆性、頻度、法令・業務要件、AI性能、人間が介入可能かを踏まえて自動化レベルを決める。』である。全ての用途で同じ監督形態が最適ではなく、リスクベースで人間-AI構成を設計する。 背景となる論点は次のとおりである。自動化の程度は効率だけでなく、誤り時の損害と救済可能性を含めて決定する。

対象：G検定 現行公式シラバス（G2024#6以降、2026-09-09確認） / 基準日 2026-09-09

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/